宮崎学園短期大学

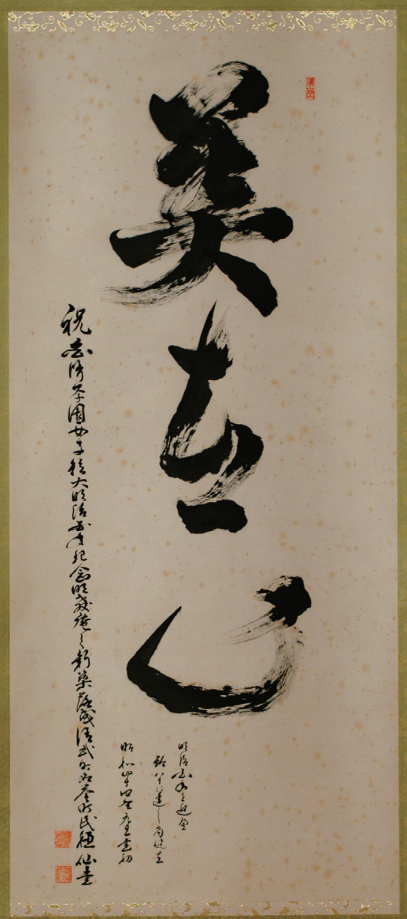
忍ケ丘

Vol. 13

Shinobugaoka
2021

特集 With COVID-19 × #ミヤタンの挑戦

施設学内実習、学内医療実習、若手育成プログラム、生涯学習WEB講座



「美在心」の掛け軸のかかった和室に姿勢を正し正座をすると、不思議に心が落ち着くことに気がつきます。明教庵で様々な場面での礼儀作法とその心を今も学び続けています。

学長所感

コロナに押された教育イノベーション

学長　宗和　太郎



■予測のできない未来が始まった

教育は予測のできない未来に立ち向かうというスローガンが、まさに目下進行中のこととして体感された1年だった。さまざまな言説が飛び交った。インフルエンザと変わらない、集団免疫ができるまで待つしかない、あと2ヶ月で収束か、2~3年はかかる、9月入学に移行しようなどと。

本学でも話し合いが重ねられた。卒業式・入学式をどうする、何かできることはないか。学校という場に密はつきものである。感染者が出れば、社会的非難を有形無形に受けるだろう。学校は明るく安心の場でありたい。感染予防をどこまで徹底するか、個々人の温度差もある中、判断は難しい。

■遠隔教育への挑戦

4月早々遠隔授業に挑戦することになった。現代ビジネス科の学生は貸与のタブレットで、保育科・専攻科学生はほとんどが自分のスマホで対応する。

ZoomやYouTubeなど知りもしなかった教員たちが、全員遠隔授業に挑戦した。「対面授業しか考えられない」という

学びを止めない、発展し続けるミヤタン



新型コロナウイルス感染拡大の影響が顕著だった今年度。
それでも授業をはじめ様々な場面で知恵を絞り工夫も行い、
少しでも前に進もうと新たな挑戦をしてきました。
本学の数々の奮闘ぶりをご紹介しましょう。

保育科
コロナ禍における学内保育実習への挑戦

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により日本国内においても緊急事態宣言が発令されました。当初は例年通り保育科2年生の「保育実習Ⅰb（施設実習）」を夏季休業期間に実施する予定としていました。

ところが、4月当初より新型コロナウイルスの感染を懸念した県内の児童福祉施設等から実習延期や実習中止の相談が本学にありました。その頃、厚生労働省から新型コロナウイルス対策として福祉施設での実習について、感染状況や実習先の状況を考慮し学内実習が可能という通知文が送られてきたため、児童福祉施設等での円滑な実習は困難な状況であると判断し、教育実習と保育実習Ⅰbの時期を交換し、保育実習Ⅰbを6月中に学内実習として実施することにしました。

学内で行なう施設実習については、厚生労働省告示のシラバスに則り、次の5項目を骨子として講義と演習を行なうこととしました。①保育所・児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。②観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。③既習の新教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。④保育の計画・観察・記録及び自己評価について具体的に理解する。⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。

しかし、例年であれば児童福祉施設等での直接的な現場経験を通して、子どもの観察や子どもとの関わりを具体的に学ぶことができますが、現場での経験ができないために、いかにして現場での経験を学内で補うかが最大の課題でした。

また、新型コロナ対策として約200名の学生が密にならないようにクラス毎に4教室に分け、35教室からの配信授業として実施しました。なお、2週間10日間の施設学内実習を次のように計画しました。

［保育実習指導Ⅰ（5月12日、5月26日、6月2日、6月5日）合計4コマ］

・保育実習Ⅰb（施設学内実習）のオリエンテーション

・保育実習Ⅰb（施設学内実習）の目的、実習先理解、実習日誌の記録方法等

［保育実習Ⅰb（施設学内実習）］

第一週：6月7日～11日

第二週：6月14日～18日

■第一週：講義中心の学修

（学外講師及び学内講師による講義等）

・外部講師による講話内容

「障害者総合支援法と障害者の人権擁護」「児童養護施設の現状と課題」「障害者通所支援施設の現状と課題」「障害者入所支援施設の現状と課題」

・学内講師による講話

「施設の役割と機能」「施設における子どもの生活と保育士の援助や関わり」「子どもの観察とその記録」「支援計画の理解と活用」「健康管理・安全対策」「施設保育士の業務内容」「子どもの活動と環境」「保育士の役割と職業倫理」

■第二週：演習中心の学修（グループ演習、福祉施設調べ、施設ブックの作成、発表会等）

約200名の学生を施設毎に5～6名のグループに分けて演習を行なった。

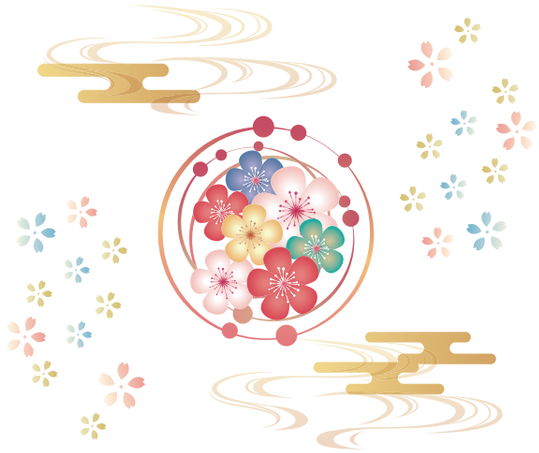
「グループワーク演習の進め方」「テーマ選択の方法と選定」「テーマについての討論・分析・結論」「テーマのまとめ（プレゼン準備）」「グループ別発表会（福祉施設等に関する情報共有）」「ワークショップ（施設ブック）」「グループ演習発表会」「総評及びレポートの作成」「保育実習Ⅰbまとめテスト」

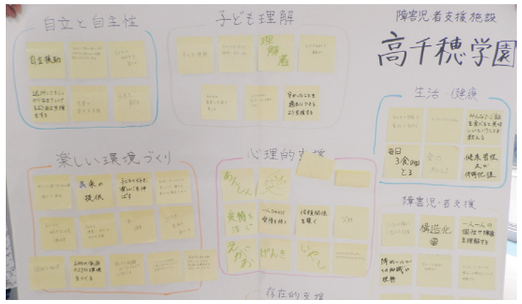
■授業外学修：児童福祉施設等に関するレポートの作成と提出

今年度の保育実習Ⅰbは、新型コロナの影響により学内での実習を余儀なくされました。実際の児童福祉施設等での貴重な経

験はできませんでしたが、前半5日間の学内実習では学外講師と学内講師による実践的で具体的な学修ができました。また、後半5日間の学内実習では小・中学校で学んだ総合的な時間の学習の経験をもとに、グループでテーマ設定、調べ学修、討論・分析・結論、発表会を実施し児童福祉施設等についてより深く調べてまとめることができました。

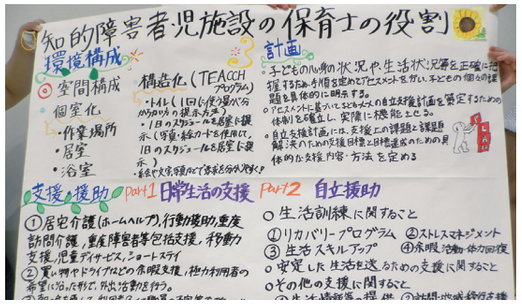
約200名の学生による学内実習でしたが、誰一人新型コロナに感染することなく無事に保育実習Ⅰb（施設学内実習）を終了できたことが何よりのことでした。




KJ法をもとにしたテーマ設定


220名の教室で約90名が学ぶ


調べた内容を模造紙にまとめる


施設保育士の役割


グループ別発表会の様子


テーマに沿って模造紙に清書

現代ビジネス科ビジネスコース「住み続けられるまちづくり」を担う宮崎の若者育成プロジェクト

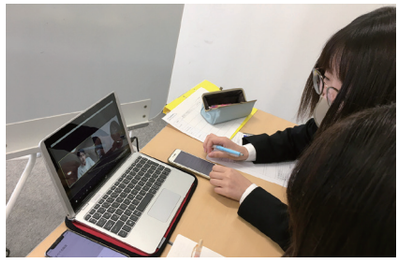
昨年度、一昨年度に引き続き、宮崎市地元とつながる人材育成支援事業の3年連続の採択を受け、『「住み続けられるまちづくり」を担う宮崎の若者育成プロジェクト』に取り組みました。今年度は、『地域社会、地元企業、地域産業界と連携した「宮崎の将来を担う若者育成プログラムⅢ』』と題し、SDGs開発目標11「住み続けられるまちづくり」を担うことのできる宮崎の若者づくりの視点を加え、①地域の課題をビジネスで解決する人材の育成、②地域の課題を地域の方々と解決できる若者の育成を目的とし、授業科目、実践ビジネス演習で実施しました。

実際の活動においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、企業見学やイベント企画など、実施が困難になったものもありました。しかしながら、コロナ禍にあるにもかかわらず、宮崎市や企業の方々、地域の方々の手厚い支援を受け、最後まで活動を行うことができました。また、活動の集大成として実施したビジネスフォーラムにおいては、初めてのWEBを活用した遠隔での開催となりましたが、企業の方々からの貴重なコメントも頂戴することができ、実り多きものとなりました。

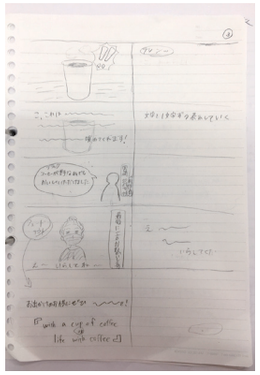
この活動が、学生の成長に繋がるだけでなく、県内外の若者の目に止まり、宮崎の産業を担う人材として活躍してくれることを心より願っています。

今回はこの取組みの一部である、「みやざき起業家応援チーム」による活動を掲載いたします。また、この活動で制作しました動画は、宮崎学園短期大学の公式YouTubeにアップしております。


1.ミーティング


2.Zoom取材


3.現地取材


4.絵コンテ


5.動画制作

ご協力いただいた起業家
Calmness of Beauty
大脇　幸太　様
現代ビジネス科ビジネスコース　2年
愛甲　桃子
髙平　芽依

■活動報告
私たちは宮崎で起業された方に取材をし、PR動画を作成する取り組みを行いました。
はじめに、インターネットなどでお店に関する情報を集め、どのような取材をするか考えました。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、何度も現地に取材をさせていただくのは難しかったため、メールでいくつかの質問をさせていただきました。文面ならではの気遣いや、文章作成の練習にもなりとても勉強になりました。その後、現地でも取材をさせていただきました。時間に限りがあったため、取材と写真撮影で仕事を分担することで、効率よく動くことができました。実際にコーヒーを淹れるところも撮影させていただき、その様子を動画の主軸にすることに決めました。
絵コンテの段階で動画の流れを細かく決めてから動画編集に取り掛かりました。PowerDirectorというソフトを使用し、落ち着いた雰囲気の動画を目指しました。作成していく中で、動画のトリミング作業が特に大変で苦労しました。また、編集中にソフトが落ちてしまうこともあり、こまめな保存の大切さを学びました。実際に現地で感じたお店の雰囲気や、大脇さんの人柄を表現した満足のいくPR動画を作成できました。

■感想
昨年も同チームで動画作成を行っており、その経験も活かしつつさらにクオリティの高いPR動画を完成させることができました。新型コロナウイルス感染拡大の影響下でも自分たちにできることはないかと試行錯誤し、メールでの事前取材など対応策を考えました。今回の活動を通して、先を見て行動することで不測の事態にも対応することができると学びました。社会に出ても、この学びを忘れずに活かしていきたいです。

ご協力いただいた起業家
欧風パン　リビエール　様
現代ビジネス科ビジネスコース　2年
堀江　彩夏
宗石　清香

■活動報告
①企業研究
インターネットを使い、リビエールさんのSNSや過去の取材の記事などを読み、どのような活動をされているのかを調べました。
②企業取材
昨今の状況で1回目はZoomを利用したオンライン取材になりました。そこで店主の押川さんがどのような方なのか、取り組んでいる活動についての取材をさせていただきました。取材で得たことからどのような動画を作成していきたいかを考えました。事前準備をしっかりしたことでスムーズに行うことができました。2回目は実際にお店を訪問し、お店の雰囲気から動画のイメージを固めました。動画で使用させていただいたパンの提供やインタビューなどもお力添えをいただきました。
③動画作成
お店のイメージや雰囲気などから動画を形にしていく作業を行いました。編集ソフトを使い作成しましたが、使用したことがなく苦戦しましたが、先生に指導いただきながら作業を行い、編集と利用する画像の加工など役割分担をすることで効率を上げました。

■感想
私たちのグループは、リビエールさんと協力して、PR動画を作成しました。慣れないことばかりで、作業に四苦八苦しましたが、リビエールさんにも動画を満足していただけたのでよかったです。

ご協力いただいた起業家
かわさき屋
川崎　勇樹　様
現代ビジネス科ビジネスコース　1年
竹之内　七海
永松　真由子

■活動報告
①企業研究
初めに担当の企業が決まり、私たちの担当の企業は、かわさき屋さんになったため、かわさき屋さんについての研究を始めました。質問事項や疑問に思ったこと、気になったことなどをすべてまとめ、取材に備えました。
②企業取材
企業研究を終え、11月の上旬に企業訪問を行いました。企業訪問では、質問事項としてまとめていたかわさき屋さん、そして宮崎の魅力、新型コロナウイルス感染拡大の影響とその他の気になっていたことを伺いました。また、実際に作業しているところを見せていただきました。その際に、企業の方が、作業の内容などを説明しながら見学をさせてくださったり、写真、動画を撮らせていただけたりしたので、企業、起業家さんのことをいろいろ知りながら、とてもいい素材を集めることができました。
③動画作成
まず初めに、動画作成をうまく進めるために、絵コンテの作成をしました。その後、絵コンテの内容に沿って取材の際に、撮影させていただいた写真や動画を組み合わせて配置していきました。また、起業家さんが、私たちが質問した内容に答えてくださっている動画には、見る人が理解しやすいように字幕を付けたり、動画を見る人が、楽しみながら起業家さんや企業のことを知ることができ、興味を持ってくれるような動画を作り上げられるように、心がけながら作成していきました。

■感想
この実践ビジネス演習の授業を通して、起業家さんは自分たちの想像と違い、宮崎の魅力を発信したり、商品の魅力を伝えるために努めていることが今回の実際に起業家さんに取材をしてみたり、動画を作成するなどの取り組みを通して感じることができました。
自分たちが一から企業についての研究、取材、動画の作成を行い、初めてのことで迷うこともあったり、失敗もしたりしましたが、自分たちも納得のいく、起業家さん、宮崎の魅力をたくさん詰め込んだ動画を作成することができたので、すごく達成感を味わえることができました。

ご協力いただいた起業家
無人古本書店「ほん、と」
杉本　恭佑　様
現代ビジネス科ビジネスコース　1年
宮田　真希
守山　宥成

■活動報告
①企業研究
今回取材をするにあたり、ご本人の経歴はもちろんYouTubeにあった取材映像など様々なところから情報を集めました。
また、取材の際に先方にご迷惑をおかけしないように事前に質問事項をまとめたりしました。質問をまとめる際はインターネット上に質問に関係する記事や記述がないかどうかをチェックしたりもしました。
②企業取材
・Zoomによるリモート取材
取材にあたり事前にアポイントメントを取るためお電話をさせていただきましたが、お忙しいらしくうまくタイミングが合いませんでした。その為、日時の打ち合わせ等も含めGmailなどのメッセージアプリを使用した連絡方法を取っていました。
取材当日は、事前に動作確認を行っていたため機械トラブル等もなく、無事終えることができました。ただ、取材の回答をメ

ご協力いただいた起業家
ペットサロンはちまめ
峰崎　留美　様
現代ビジネス科ビジネスコース　1年
郡山　愛梨
中野　未帆
速見　音有香

■活動報告
①企業研究
今回の実践ビジネス演習では、企業のPR動画を作りました。私たちは最初、取材させていただいたはちまめさんをより知っていくために、インターネットやSNSを駆使して調べていきました。その中でペットサロンと老犬介護をどう両立させているのか、また峰崎さんの経営での苦労を知りたいと思い、取材させていただきました。
②企業取材
最初の取材は、あらかじめメールで質問内容を送り、電話で回答をしていただきました。主に活動内容のことや峰崎さんがなぜこの仕事に興味を持つようになったのかをお話ししていただきました。しかし、企業ごとに質問したことと内容を発表したとき、「起業家さんのもっと深いところが知りたい」という指摘を受け、再度質問を付け加え、次は直接取材をさせていただきました。追加内容は、「店名の由来」や「この職につこうと思ったエピソード」など峰崎さん自身の魅力を引き出せるような質問をしていきました。お忙しい中、私たちの質問に親身になって答えていただきました。そのあとは、動画作成のために、写真やインタビュー動画を撮らせていただきました。
③動画作成
取材で撮影させていただいた動画と写真を使って、動画作成に取り掛かりました。最初はうまく作り方や操作の仕方が分からず苦戦した場面もありましたが、グループみんなで意見を出しあうことでなんとか作り終えることができました。工夫したところはインタビュー動画の字幕で分かりやすくしていることと、音声や音楽を入れて、ただのスライドだけの動画にしないようにしました。
■感想
今回の取り組みで、起業家さんの独自の視点や意気込み、その起業家さん自身の魅力を動画で伝えることができたのではないかと思います。また、起業家さんの考えや思考は自分が考えつかないものだったので、取材していて、とても良い刺激になったのではないかと思います。

ご協力いただいた起業家
やまぐち橄欖（オリーブ）店
山口　直人　様
現代ビジネス科ビジネスコース　1年
工藤　咲耶
椎葉　美海
橋本　朋海

■活動報告
①企業研究
まずはインターネットで情報収集を行いました。ホームページやＹｏｕＴｕｂｅを見て、どのような商品が販売されているのかを調べていき、それぞれノートに書いて取材内容を決めていきました。インターネットでは限られた情報しかなく、取材をする内容を決める際にすごく苦戦しました。
②企業取材
新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、直接足を運んで取材を重ねることは厳しかったので、まずはオンラインでの取材を行いました。次に、やまぐち橄欖店さんを訪問し、Ｚｏｏｍでの取材の内容を踏まえて、より具体的に取材を行ったり、写真撮影を行ったりしました。
③動画作成
動画作成に向けて、まずは絵コンテの作成から始めました。取材内容をもとに絵コンテを考えていきましたが、思うように案が出ず動画作成の難しさを痛感しました。
起業家さんが伝えたいことをまとめるのが難しく、文字だけにならないようにイラストや動画を使って、見やすい動画になるように工夫をこらしました。
■感想
今回の起業家さんへの取材は宮崎のことについて深く知る良い経験になりました。
宮崎にはこれまで知らなかった企業がたくさんあり、地元宮崎の良さに気づくことができました。魅力的な宮崎についてもっとたくさんのことを知りたいと思いました。また、この良さを自分も発信できるようになりたいと思いました。

みやざき起業家応援チームの動画はコチラ

Calmness of Beauty様	欧風パン リビエール様	かわさき屋様	無人古本書店「ほん、と」様	ペットサロン はちまめ様	やまぐち橄欖（オリーブ）店様

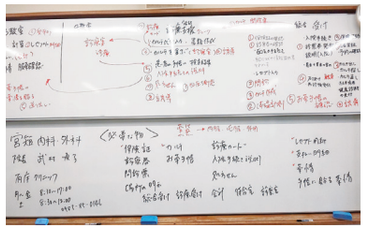
現代ビジネス科医療事務・医療秘書コース
学内で実施した医療機関実習

■学内実習で模擬病院を実施

チーム医療で活躍する医療事務養成において、医療機関実習は重要な位置付けにあります。しかし、9月実施の医療機関実習Ⅱでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため医療機関での実習が困難となり、一部学生を対象に学内実習へ変更となりました。

その中で模擬病院の開催は参加学生が中心となり、「医療機関実習Ⅰ」での体験を基にカルテや受診カードなどの書類作成、病院の待合室や受付のレイアウト、そして、患者のシチュエーションを考えました。最終日には、学内の教職員に模擬患者となって受診をしてもらい、学生は様々な学びができたようでした。


業務の流れを考える


必要な物のリストアップ

■学生の記録より

「今日は、模擬病院の実践を行いました。自分の役割は会計でした。そこで感じたことは、待っている患者が増えるごとに、自分の気持ちが焦ってしまうということです。業務で手一杯になってしまい、他部署への情報伝達も上手くできませんでした。しかし、時間が過ぎ慣れてくると、やるべき仕事が見えてきて、動けるようになりました。先生方からも誉めていただき、とても嬉しかったし、何より楽しかったです。」

学内実習におきましては、医療機関実務者の講師、実践指導者の方々のご協力を頂きましたことに、心より感謝を申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染拡大の非常事態の中、対策を万全に整え学生を受け入れて頂いた医療機関の関係者の方々にも厚くお礼を申し上げます。


受付対応


患者の立場での待合室

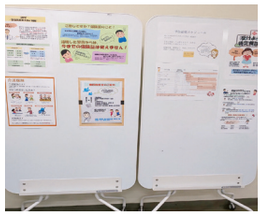

クラーク業務としての血圧測定



会計レセコン入力



薬局事務


情報発信のためのポスター

模擬病院の動画はこちらをご覧ください。

専攻科（福祉専攻）
コロナ禍でも果敢に挑戦した学内での介護実習

四月七日の入学式以降、前期授業開始が延期となり、四月二十七日からようやくＹｏｕＴｕｂｅを使用しての遠隔授業が開始されました。学生たちは慣れない自宅での配信授業の受講や課題提出等、これまでにない状況下で懸命な取り組みが見られました。その後、五月二十五日に対面授業が始まったときには、学友と机を並べて学ぶことの喜びを感じるとともに、当たり前が当たり前でないことを改めて実感する日々でした。

また、授業だけでなく五月（実習Ⅰ）、六月（実習Ⅱ-1）、八月（実習Ⅱ-2）の実習についても延期や学内演習に振替えての実習となりました。介護施設や事業所での実習を控えている専攻科生には、入学式以降毎日の検温・健康状態の記録を行うことで、介護福祉士を目指す学習者としての自覚も芽生えたことと思います。

学内演習では、実際の実習期間と同じ時間数で高齢者疑似体験や事例に基づく生活支援技術の展開、認知症サポーター養成講座や音楽レクリエーション、マスク作りなどそれぞれの実習目標に沿った学習を行いました。


布マスク作り



音楽レクリエーション



高齢者疑似体験


事例に基づく演習発表


車椅子体験


グループ調べ学習


音付き劇


認知症サポーター養成講座

ディベートテーマ
高齢者が安全・安心してその人らしい生活を送るための方策
―「施設」「自宅」のどちらで生活するのが望ましいか ―

Aチーム作戦会議


「施設で生活するのが望ましい派」

Bチーム作戦会議


「自宅で生活するのが望ましい派」

勝利をめざして力説する様子


ジャッジも真剣

専攻科（福祉専攻）【専攻科案内・交流会】令和2年11月25日

毎年、専攻科進学への関心を高めてもらうことを目的として、保育科生と専攻科生との交流会を実施しています。今年は進学・就職を目前に控えた保育科2年生を対象に、専攻科生がガイダンスアワー教室に直接出向いての交流会となりました。参加した2年生からは、専攻科での実習や授業内容、介護福祉士国家試験に向けての取り組みなどの質問があり、専攻科での学びを知ってもらえる良い機会になったと思います。

■交流会に参加しての感想（保育科2年生）

・専攻科進学後のことをイメージすることができた。
・専攻科の様子や国試の対策など知ることができた。
・先輩が楽しそうに話をしているのを見て、専攻科に行ってみたいと思った。
・専攻科に進学するうえでのことや実習について先輩に質問することで少し不安が解消できた。
・専攻科で何を学ぶのか詳しく知ることができた。
・専攻科の魅力が伝わった。
・実習や授業内容について理解できた。
・介護について良いイメージをもつことができた。
・資格があると働ける場も広がることを知った。
・専攻科では子どもとは違う対応について学べることを知った。

交流会に参加して

専攻科（福祉専攻）　三重野　結夏

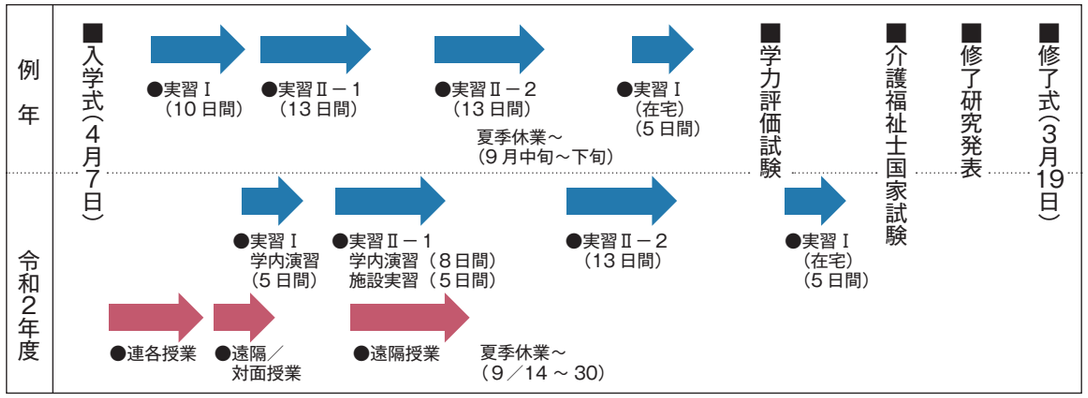
私は今回の交流会にて、専攻科進学の動機、専攻科で学んでいること、実習を通して印象に残ったことなどについて話をさせていただきました。皆さんが熱心に聞いてくださりとても嬉しかったです。その中で、介護実習における記録の書き方についての質問がありました。私は介護過程の展開をするうえでどのように受け持ち利用者と関わり情報収集を行うかなど、体験をもとに様々な点から説明しました。

この交流会を機に少しでも「介護」について興味を持ってくださる方が増えたら嬉しく思います。コロナ禍で多くの行事が変更を余儀なくされる中ではありましたが、自分の思いも整理する貴重な機会となりました。ありがとうございました。


保育科2Aクラスと
専攻科生との交流会の様子


保育科2Dクラスの学生を前に
話をする三重野さん（左）

令和2年度 専攻科（福祉専攻）の一年



生涯学習 WEB 講座

地域交流研究センターは地域連携センターへと名称を変更し、幅広く地域の方々と共に活動していく組織として新たな道を歩み始めました。

今年度の活動は、地域のニーズに沿った情報の提供を始めとした、本学の地域貢献を目的としています。しかし、未だ終息の兆しを見せない新型コロナ感染症は、本センターの社会活動にも影響を及ぼしました。そこで、今年度の活動は、本学教員が持つ様々な専門知識や技術を最大限に活かした、在宅でも学べる多様な生涯学習動画の配信など、リカレント教育への寄与を主軸に進めております。

ここで、本センターが今年度制作いたしました生涯学習動画のなかから、いくつかご紹介させていただきます。

まず、「初心者向けのピアノ講座」です。この動画は、本年度前期のコロナ禍による自宅待機期間中にWEB配信で実施された、保育科1年生向けの『器楽』の遠隔授業を、地域の皆様向けにアレンジしたものです。保育科の小澤真美子講師の丁寧な解説と、大きく映し出された手元の映像が、ピアノ初心者の方にも大変わかりやすい動画となっております。



次に、専攻科の桑迫信子講師による「楽らく介護」です。この動画では、寝返りや立ち上がりなど、日常の介護において頻繁に行う動作について取り上げ、どのような工夫をすれば本人と介護者がより安全で安楽に介護ができるのか、ヒントを与えてくれます。桑迫講師による、介護者の力の入れ方や声掛け方法などの専門知識に基づいた解説は、介護をより理論的に学べる動画となっております。

次に、保育科の高妻瑠弥乃講師による「フルーツで健康生活を楽しもう」です。この動画では、子どもでも簡単にできるバナナの飾り切りをご紹介しています。新型コロナウイルス感染症予防のため、積極的な果物の摂取など栄養バランスの整った食生活を楽しんでいただきたいという思いで作成されました。イルカやアシカといった水族館の生き物をモチーフにしたフルーツカットを楽しめる動画となっております。

また、実習指導室の職員、森﨑麻衣子による子ども向け手作りおもちゃの製作「身近なものを使って、スノードームにチャレンジ！」も、コロナ禍の外出自粛における在宅時間を活用して、ご家族一緒に楽しめる講座となっております。このように実習指導室では子どもたちの豊かな成長につながる実践的な遊びのレパートリーをたくさん用意し、保育者を目指す学生たちに紹介しています。

最後に、保育科の山本優子講師による「伝統の明教庵で『茶道』のお稽古」講座です。本学の建学の精神である「礼節・勤労」に基づき、学生は明教庵にて茶道を始めとした一般礼節を学びます。この動画では、「真・行・草」からなる三種のお辞儀や薄茶のいただき方などの基本的な茶道の所作を、割り稽古の形で教授しています。

以上でご紹介した通り、本センターでは各学科の教員が、それぞれ担当する科目の専門知識を活かし、地域の方のニーズに合わせた様々な動画を作成しております。「生涯学習WEB講座」と銘打って本学ホームページにて無料で公開しておりますので、ぜひご覧ください。

地域連携センターは地域の皆さまの学びたいという気持ちに応え、また受講者一人ひとりが新たな夢を想い描き、実現し、輝く学びの場となるよう、これからも地域貢献を推進し、地域に開かれた教育機関を目指して取り組んでいきたいと思います。

生涯学習
WEB講座は
こちらから
ご覧下さい。

学科・専攻科の一年間の取り組み

保育科

やわらかな保育空間

保育科　学科長
泰田　久史



ある園を訪問した際、心に残る保育に出会いました。4歳児クラスで「図形あそび」の活動をしている場面で、園児たちが「丸いもの」を発表しているところでした。「りんご」「ボール」と次々と発表が続く中、ある男の子が「えんぴつ」と元気よく答えました。周りの子どもたちが一瞬きょとんとする中、先生は笑顔を浮かべながら「よく気がついたね。○○くんが言ったのはここですね」と鉛筆の底の丸い部分を指し示しました。周りの子も納得の表情です。

続いて、「三角のもの」の発表です。その男の子はまた「えんぴつ」と答えました。先生はまたにっこりと笑って「ここにも気がついたんですね」と言って削った先の部分を見せました。その瞬間、自然と子どもたちから拍手がおきたのです。みんなが笑顔のあたたかくやわらかな空間でした。

この保育教諭（かつての教え子ですが、今は教えられています）のような素敵な先生に学生が育つことを信じて、これからも保育科は頑張りたいと思います。

「保育の心理学」の授業を通して

保育科　准教授
井上　浩義



この授業は、子どもたちの行動や思考、気持ちについて考え、保育者としてどのように援助していけばよいのかを考えていく授業です。

子どもたちの行動には必ず理由があります。それは、その子の特性であったり、そのときの感情や環境であったり、発達上の特徴であったりなど、さまざまな要因が背景にありますが、保育者が援助を行う際には、この理由をしっかりと考え、それに応じた対応が求められます。例えば、仲間入りが上手くできない子どもがいたとして、「入れて！」の合言葉を知らない子どもへの対応と、知っているけれど言えない子どもへの対応では、保育者としてかける言葉も全く違うものとなってきます。

この授業においては、毎回の事例検討を中心として課題が出され、学生はそれを考えてきた上で授業に臨み、事例についてのグループディスカッションを行うなど、学生が実際の現場に出たときに、とっさの場面でもしっかりと考えて対応できるための知識とスキル、さらには将来の保育者としての成長を促すカンファレンスの場面においても、自己の保育の理由をしっかりと説明できる力を養うべく、授業を進めています。

すべての子どもの行動には理由があり、すべての保育者の援助にはその理由に応じたねらいがあるということを、この授業においてしっかりと考えることで、保育の楽しさややりがいに気づいてほしいと考えています。

「保育の心理学」を学んで

保育科　1年
山田　捺希



教育心理学・保育の心理学を学んで、教育に関わる様々な問題について、基礎や知識について幅広く教えていただいています。心理学と聞くと難しいような印象を受けていましたが、授業を通して多くの興味深い問題が隠されていることに気づけたりして、発見の多い科目です。なかでも、子どもがけんかをした際の保育者の対応についての事例では、実際に基本実習で出会った場面を想像しながら、保育者として「見守る」「寄り添う」「子どもの目線

になる」ということの大切さについて考えることができました。実習や就職など、保育現場に出た際に効果的に役立てられる行動について考え、対応できるためのスキルを上げられるよう、課題に取り組み、沢山の発見や知識を得ることで楽しさや難しさにぶつかり、毎回の授業で多くのことを吸収できていると感じています。これからの実習で、保育士として子どもたちにどのような援助をしたら良いか、それについて頭を機敏に動かし一瞬で対応できるような保育士を目指していきたいです。

「社会的養護Ⅰ・Ⅱ」の授業について

保育科　准教授
樋口　成樹



「保育士」というと、保育園で働くイメージが強いと思いますが、家庭で暮らせない子どもが入所して生活する「入所型施設」なども保育士の職場として法的にも歴史的にも定着しています。社会的養護の授業は、そうした施設などで暮らす子どもに関することを扱う科目です。郷土の偉人の一人である石井十次の実践や、戦後に「戦災孤児」を預かったことなどが起源とされ、児童養護施設や乳児院などのほかにもこうした施設が数種類あります。今日では、虐待などを背景として、里親などの「家庭（的）養護」の充実が急激に進められており、社会的養護の状況は変貌しつつあります。社会的養護はイメージを持ちにくいと感じやすい科目ですので、まずは具体的イメージを持ちやすいよう、動画などを用いて理解を図っています。また、トラウマなどの虐待被害の後遺症がある子どもたちへの支援は、一般児童の支援にも通じるところもありますし、保育所の保育がいかに虐待予防になるかなども合わせて学びます。「自分に関係ない話」と思わず、しっかり取り組んでほしい内容です。

「社会的養護Ⅰ・Ⅱ」の学びを通して

保育科　2年
松山　芽果実



社会的養護Ⅰの授業では、講義やDVDなどを通して児童養護施設などの「施設保育士」の知識や現状を学び、児童養護施設の園長先生が担当してくださった社会的養護Ⅱでは、現場の実状や施設保育士の仕事、事例を通して、そこで暮らす子どもたちの日常や支援方法など、現場の先生ならではの様々なことを学んでいます。学園短大で、例年行われる施設実習は、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学内実習となりました。先輩方の中には実際の現場での実習を通して施設に興味を持ち、就職された方も多くいらっしゃると伺い、楽しみにしていたので、実習が叶わなかったことはとても残念に思いました。私は入学以前より、児童養護施設での就職を希望しており、アルバイトをしております。施設で暮らす子どもたちはみんな元気で楽しく生活しております。様々な事情を抱えている子どもたちですが、偏見を持つことはなく、一般家庭の子と同じように育て、社会に出たときに「施設で育って幸せだった」と思ってもらえるような支援を目指しています。保育士や幼稚園教諭だけでなく施設保育士にも目を向けてもらえると嬉しいです。

「低年齢児保育Ⅰ・Ⅱ」の授業を通して

保育科　助教
小川　美由紀



私は、低年齢児保育の授業を進めるにあたって大事にしていることが二つあります。

まずは、授業の中で保育現場を感じられる工夫です。教科書も使用しますが、何よりの教材となるのは実際の保育映像や、現場で使用している玩具や連絡帳、

そして経験談です。
二つ目は、チームワークの大切さです。保育は一人で行うものではありません。特に低年齢児期の保育では、保育者同士の連携が重要となります。授業では、グループワークを取り入れ、具体的な保育場面における子どもへの関わり、環境構成や援助・配慮をより実践的に考えられるように助言しています。学生たちの初々しい意見を聞くと、私も初心に返ることができ、嬉しい気持ちになります。この授業を通して、学生の皆さんが〝子どもが好き！保育をしている自分も好き！〟と言える素敵な保育者になれるよう、後押ししていきたいと思います。

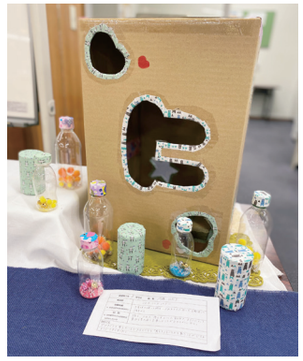


「低年齢児保育Ⅰ・Ⅱ」を受講して

保育科　1年
内藤　日向子



低年齢児保育の講義では、主に0～3歳の発育・発達や保育園・認定こども園での保育内容、地域型保育に関する支援事業など、より専門的に保育の分野を学んでいます。この授業は担当されている小川先生が実際に現場で保育士として働いていたときの経験はもちろん、親としての保育者との関わりの実際をお聞きすることができ、とても貴重な時間です。私たちはコロナ禍で保育所見学実習に行くことができなかったのですが、先生のお子さんの成長の様子を映像や写真で見せていただいたり、実際のお帳面のやりとりを参考にお帳面を書く演習をしたりするなど、目で見て考え、体験することで保育の現場を生で感じることができました。また、グループワークを通して事例を考え学友と意見を交換したり、低年齢時期の子どもに向けて手作りの玩具を製作したりと保育者としてより子ども理解を深めることができました。この授業で学んだ知識をこれからの実習で活かしていきたいと考えています。





卒業生からのメッセージ

社会福祉法人 住吉保育会 島之内保育園

令和元年度卒　保育士
増田　琴瑛



私は、昨年の春、宮崎学園短期大学を卒業し、現在宮崎市内にある幼保連携型認定こども園島之内保育園で年長児の担任をしています。新任で初めてのクラスが年長と聞いたときは、嬉しさの反面驚きと不安な気持ちだったことを今でも鮮明に覚えています。今は短大で学んだことを自分の保育に取り入れたり、実習や演習で培った経験を活かしたりしながら頑張っています。また、同クラスの先生に具体的なアドバイスや手厚いサポートをしていただいて助けられたり、同僚の先生と励まし支え合ったりしながら毎日楽しく保育に携わることができています。一番に子どもたちの成長を身近に感じながら日々最高の笑顔を見ることができるという点で、私自身も元気をもらい仕事へのやりがいを感じています。
子ども一人ひとりの個性や保護者支援などの対応がまだまだ分からないことばかりで手探りではありますが、これから時間をかけて学び、子どもと一緒に成長していきたいと思います。短大で学んだ多くの知識や経験はきっと自分の糧となると思うので今後さらなるご活躍を応援しております。



田野カトリック聖母幼稚園

令和元年度卒　保育士
中竹　菫



私は宮崎学園短期大学を卒業し、現在母園でもある田野カトリック聖母幼稚園で2歳児の担任として働いています。卒園した園で働くのが夢だった私は、夢が叶い毎日楽しく子どもたちと過ごしています。就職したばかりの4月は、分からないことが沢山あったり、どうしたらいいか迷うことだらけで毎日過ごすだけでいっぱいいっぱいのこともありました。ですが、短大での学びが私の力、励みとなり今楽しく働けているのだと思います。私が今担任しているクラスの子どもたちは、2歳児ということもあり、イヤイヤ期真っ只中です。そんな子どもたちと接していくのは難しく悩むことも多いのですが、様々な関わり方をしていく日々です。今日は上手くいった！　やった！という達成感は自分の自信にもつながり、次はこうしてみよう！など自分を高める力にもなります。この向上心を身につけられたのも大学時代同じ夢を持つ仲間たちと一緒に勉強し、実習を乗り越えてきたからだと改めて思いました。子どもたちと本気で遊んだり、大きな声で笑ったり、一緒に泣いたりできるのは先生の特権です。これからも大学での学びを活かし、成長していきたいと思います。



コロナ禍での現代ビジネス科この1年 ～現ビONE TEAM～

現代ビジネス科長
矢田　憲太朗



昨年の2月頃から感染拡大が始まり、今なお各地が緊急事態宣言下にある新型コロナウイルスの感染拡大影響を受けて、現代ビジネス科もその対応に追われた1年でした。

まず始めに、1年次の3月から本格的に始まる学生の就職活動が影響を受けました。多くの就職説明会や企業説明会が中止され、学生が正確な就職情報を得る機会が少なく、例年に比べると遅い就職戦線のスタートであり、就職面接等が始まるZoom等によるWeb面接も多くなり、事前の学生の面接指導にも工夫が必要でした。しかし、学生諸君の真面目な取組と学科の先生方の熱心な指導により、全ての学生が進路を決定することができました。特に、本年度から4年制大学編入学指導への取組も本格化することができ、宮崎公立大学3年次編入学者を出せたことは大きな成果であります。

また、年度当初から通常の対面授業開催の目処が立たない状況でしたが、新入生についても4月15日に学科登学日を設け、タブレットの配布と遠隔授業実施の説明、4月16・17日の二日間模擬授業の実施を経て遠隔授業ができる体制を整え、4月27日からZoomによる双方型遠隔授業とYouTubeを使った配信型遠隔授業の2タイプのWeb配信授業をスタートすることができ、情報教育に強い現代ビジネス科の特色を活かしたコロナ対応に取り組むことができました。

5月下旬から、対面授業が再開されましたが、8月から9月の間に予定されていたビジネスコース1年の企業実習Ⅰ（5日間の企業インターンシップ）と医療事務・医療秘書コース2年の医療機関実習Ⅱを学内実習に切り替えて実施することとなりました。しかし、ここでも、学科担当教員の創意工夫と関係機関・企業等の全面的なご協力ご支援によりコロナ禍で実施できる最良の代替実習を実施することができました。概要を述べますと、例年学生一人が1社または複数社で5日間のインターンシップを経験する企業実習Ⅰでは、コロナ禍で現場での実習が難しい事業者では、学生一人が2社の事業所とZoomで遠隔企業体験を行い、協力企業からテレワーク課題を課して頂き、コロナ感染拡大予防に有効な新しい働き方の体験も取り入れ、コロナ禍ならではのインターンシップを実施しました。また、例年は学生が通える居住地域内の企業でのインターンシップに限られるのですが、今回の遠隔インターンシップでは、居住地から離れた企業の体験もできたといった二次的な成果もありました。また、コロナ禍でもっとも多忙な職場となった医療機関での実習である医療機関実習Ⅱも学内実習に切り替えましたが、学生に少しでも臨場感と実際の医療現場での動きを体験できる代替実習にしようと、病院関係者の協力も頂き学内に模擬病院を作り、職員が患者役を務めるなど担当教員を中心に学科職員が一丸となって取り組み、学生も生き生きと実習に取り組みました。

これらの他にも、コロナ禍で計画通りに実施できなかったオープンキャンパスを始めとする学生募集の取組を補完する目的で、現代ビジネス科に入学して大きく成長し進路先の決まった学生の姿を直接、高校の先生方に伝える学科教員と学生同伴による普通科高校学生訪問を実施するなどの取組も行いました。

このように今年は、新型コロナウイルスへの対応に追われた1年でありましたが、学生たちはこの学習環境下でも、学修に真摯に取り組み、自己の良さに気付いて伸ばす努力をして大きく成長できました。また、学生一人ひとりの成長を学科職員が一丸となって支えることができた1年でもあったと感じております。「教員の喜びは学生の成長を感じること」を合い言葉に、今後も現ビONE TEAMで頑張ってまいりますので、今後の現代ビジネス科の学生の成長をご期待ください。

令和2年度　現代ビジネス科　資格取得状況一覧

※ 令和3年2月28日現在

試験の名称	主催	合格者数
簿記能力検定	全国経理教育協会	3級（19）名
秘書検定	実務技能検定協会	2級（1）名 3級（20）名
情報処理技能検定 （表計算）	日本情報処理検定協会	1級（2）名 準1級（0）名 2級（11）名 3級（8）名
日本語ワープロ検定	日本情報処理検定協会	1級（1）名 準1級（5）名 2級（12）名 準2級（7）名 3級（12）名
ファイナンシャル・ プランニング技能検定	日本ファイナンシャル・ プランナーズ協会 （日本 FP 検定）	（学科のみ合格3名） 実技1月24日実施
医療保険請求事務実技試験	全国医師会医療秘書学院 連絡協議会	（15名）
日医総研 日医 IT 日レセ操作実務者 ＜認定オペレーター＞	日本医師会 総合制作研究機構	（16名）
医療秘書認定試験	日本医師会	（14名）

※ 合格者については、授業の選択によって人数に差異があります。

現代ビジネス科 ビジネスコース

ビジネスコースでの学び

ビジネスコース　1年
守山　宥成



私はこの一年間で、新しいことをたくさん経験し、幅広い学びを深めることができました。

まず、コロナの影響により入学直後から遠隔授業になりました。新しい環境の中で、いきなりの体制で始まり、不安な気持ちもありました。しかし、先生方の親身かつ丁寧なご指導のおかげで次第に安心して、そして楽しみながら取り組めました。

また、本学では、今までやってこなかったような新たな活動にも積極的にチャレンジしました。その一つが、オープンキャンパスに学生スタッフとして参加したことです。

高校生や保護者の方に向けて本学の魅力や特色を自分の言葉で伝えました。また、人前で話すことに対する自信もつきました。学んだことも多く、準備における計画性や協調性、考え抜く力の必要性など、たくさんのことを吸収しました。

他にも、検定試験やそれを見据えた学習、先生方や友人との交流などを通して、この一年間がかけがえのない有意義な時間になっています。

来年は、就職活動が控えています。今後も授業での学びや経験を大切にしながら、目標に向かって前進していけるよう、精進していきたいです。

一年間を振り返って

ビジネスコース　1年
中野　未帆



私はこの一年間でパソコンや簿記、ビジネスマナーなどたくさんの新しいことを学びました。

それらを学んでいく中で力をいれて取り組んだことは資格取得です。

私は計画的に物事を進めることが苦手で、いつもギリギリになってやることが多いのですが、短大では自主学習が高校よりも必要になってきます。これからたくさんの資格取得をするためには検定日から逆算して自主学習を進める必要があり、社会人になっても活かせるような学習の仕方をしたいと思っています。

まだ取得できた資格は少ないですが、残りの一年ほどで、以上のことを意識し、多くの資格取得の目標に向かって、その過程も大事にしていきたいと思います。

二年間を振り返って

ビジネスコース　2年
土持　舞波



様々な人に支えられ、視野を広く持つことの大切さを学ぶことができた二年間でした。私は、目に見えて感じるものが自分に関わるすべてだと思っていました。例えば、勉強やアルバイトは頑張るほど目に見える評価や対価を得られます。しかし、それで終わりではなく、本当はその裏で「誰か」の協力があることを知りました。

私は特に就職活動で、そのことに気づかされました。とある報告を怠ったことで、関わっていた先生を困らせてしまうことがありました。それまでは自分ごとのように考えていた就職活動でしたが、直接的に関わりがなくても、様々な人の協力によって成り立っているものだと実感しました。

私は春から社会人になります。これまで以上に自分の行動に責任を持ち、周りの人への感謝を忘れないように生きていきたいです。そしていつかは、自分も誰かを支えられる人間になりたいと思います。

卒業生からのメッセージ

二年間を振り返って

ビジネスコース　2年
門之園　聖加



私は、人見知りする性格で入学当初は緊張もあり、授業を受ける教室の場所が分からなくなることもありました。しかし、先生方や同級生、先輩方がサポートしてくれたおかげで二年間安心して過ごすことができました。

私が特に印象に残った体験は、授業で「かのうinフェスタ」というイベントに参加し、企画に取り組んだことです。子どもたちが喜ぶようなかご作り体験やお菓子の掴み取りを企画し、必要な材料の購入や制作に必至に取り組みました。当日は大勢の子どもたちが立ち寄ってくれて、受付や会計、接客などを実践することができ良い経験になりました。商品の企画、販売を通して、販売実践の理解を深めることができたのでこの経験を仕事に活かしていきたいです。

門川町立図書館

令和元年度卒　ビジネスコース
長田　彩奈



私は、現在町立図書館で働いています。本の貸出しや返却、雑誌の登録、本の修理などを行っています。新型コロナウイルスの感染拡大により、休館や予定していた行事を縮小するなどの様々な影響がありましたが、日々職務に励んでいます。

短大では、ビジネスマナーやパソコン技術、図書館学などについて学びました。職場では、利用者の方と接するだけでなく電話対応やパソコンを使用する機会が多々あるので、短大で身に付いたことが大いに役立っています。利用者と接する中で、どう応対するかなど戸惑うこともありますが、講義で学んだことや演習で経験してきたことを思い出しながら取り組んでいます。

短大での2年間は、知識や技術、経験など社会人として生きていくために必要な事柄を学んだ貴重な時間でした。2年という時間はあっという間だと感じると思いますが、様々なことに挑戦して後悔のないように学生生活を送ってください。







現代ビジネス科
医療事務・医療秘書コース

また、医療の専門授業では沢山の専門用語や初めて知ることばかりで最初は授業についていくのに必死でした。2月には医療実習が予定されておりこのような時期だからこそ医療の現場でしっかり学んでこようと思います。

医療の学びを振り返って

医療事務・医療秘書コース　1年
後藤　花琳



短大に入学してまもなく一年が経とうとしています。4月から始まる大学生活に胸を躍らせていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン授業になりとても残念でした。友達にも会えず、本当の授業の雰囲気も分からなかったり授業を受けていても受けている気にならなかったりと、とても複雑な思いでいました。一番残念だったことは春と秋にある忍ヶ丘祭が中止になってしまったことです。友達と楽しみにしていた行事だったのですが、コロナがなければなと、とても悔しかったです。

しかし今では、90分の授業に少しずつ慣れてきて90分の授業が足りないぐらい充実した日々を送ることができています。しかし、コロナウイルスの影響は大きくいつ遠隔授業になってもおかしくないのが現状です。

遠隔授業では、分からないところを直接聞くことができなかったり、通信環境が悪く声が聞き取れなかったりする時もありました。今は、登校することができているので時間を大切に過ごしていきたいと思っています。

後期の後半には初めての医療期間実習があります。今まで学んだことを活かし積極的に取り組んでいき、自分を成長させるために頑張っていきたいです。

一年間を振り返って

医療事務・医療秘書コース　1年
黒木　悠理



入学して短大生活が始まりもうすぐ一年が経とうとしています。ですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり中々学校に行けない日々も続き不安でした。勉強のことはもちろん友達や先生方ともあまり交流がなく、短大生活を楽しんでいけるのか心配でした。そしてやっと学校に行ける日がきました。高校とは違い一コマ90分授業で初めの頃は慣れることができず授業を受けるのに必死でした。

大学の学びとは

医療事務・医療秘書コース　2年
小汲　結衣



短大での学びで大切なことは、学んだことが身についているのか繰り返し確かめることです。

2年生の授業は1年次に学んだ内容が基礎となっているものが多く、特に医療機関実習では、情報処理や医療秘書領域での知識を問われる場面が多くありました。そして、繰り返し知識を問われることで、自分自身の課題を見つけることや広く視野を広げたり深めたりすることができました。さらに、入学した当時は、自分の将来のために学ぶものと思っていましたが、医療についての知識は自分の将来のためだけではなく、困っている人を見つけたら率先して手を差し伸ばすことのできるためでもあると知りました。

この二年間で身についた知識は社会のために活かしていくものであり、本当の力として身についていることが大学の学びだと考えています。

卒業生からのメッセージ

コースでの学び

医療事務・医療秘書コース　2年
田吉　夏夕



初めて医療について学んだ時、新しいことを学ぶ喜びでドキドキしていたのと同時に理解できるのかなと不安だったことを思い出します。

コースの専門科目では、何故学ぶのかを考えさせながら学生が理解できるまで先生方は説明をしてくださいます。しかし、特にレセプト（診療報酬明細書）は奥が深く理解するまでが大変で、ある程度学んだ今でも医療制度やカルテの読解など充分ではありません。

そして、授業で学んだことは実習で実践していきます。今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で学内実習が行われましたが、医療機関での実習と同じく、教室で学んだことを学生が振り返りながら発展的に実施できました。

コースでの学びは、学内、実習を経て就職先の医療現場に繋がっているのだと理解しています。

上田脳神経外科

令和元年度卒
医療事務・医療秘書コース
保明　香央莉

私が働く上田脳神経外科は、病床数19床のクリニックですが、脳外科手術やリハビリ、ＭＲＩ検査などを実施しています。また、救急車で搬送される患者様を積極的に受け入れ、診療時間外であっても受け入れを断ることはありません。スタッフは最適な医療の提供を実現しようと日々の業務に取り組んでおり、私もその一員として貢献できるよう努力をしています。

私の行っている具体的な業務内容は窓口業務や会計、電話対応などですが、患者様の中には言語障害や聴覚障害の方もおり、それぞれの方に合った対応を心掛けています。しかし、就職して半年ほど経っても知らないことは多く、特に、レセプト点検では、薬の名前や病名を暗記していないと作業が円滑に進まないため、まだまだ勉強が必要だと思っています。

短大では同じ夢を持つ仲間や親身になってくださる先生方と出会うことができ、本当に良かったです。この出会いは、これからもっと成長するために努力する、私の支えとなっています。





専攻科（福祉専攻）

専攻科（福祉専攻）　主任
桑迫　信子



近年、私たちの身の回りでは大きな自然災害や見通しのたたない感染症など、未曾有の出来事が起こっています。今年度は特に、健康的な暮らしや備えの重要性を知る年となり、周囲の人々との助け合いや繋がりが、塞ぎがちな心を折にふれ前向きにしてくれました。また、毎日のように医療や福祉の現状がクローズアップされることで、最前線で活躍される方々の緊張感を身近に感じ、心からの敬意を抱く日々です。

本学専攻科は、保育科卒業後一年間の履修で、介護福祉士国家試験の受験資格が得られます。実習では多くの高齢者施設にお世話になりますが、新しい生活様式と厳しい行動制限が長期にわたり、計り知れないご苦労が推察されます。そのような中でも、「後進育成のために」と受入にご協力くださったことが大変ありがたく、深く感謝しています。今後少しでも感染の危機が収まると同時に、浮き彫りとなった福祉社会の弱点が和らぐことを願い、養成校としての使命をさらに強く感じるところです。

学内においては、学びの質を保ちながら学生の生活リズムを整えるために、ＩＣＴ活用での遠隔授業を実施しました。経験のない教育方法でしたが、可能性の広がりを実感しましたし、改めて対面授業の良さも感じました。また、登学が可能となった際には学生の意識にも変化が起きており、ロールプレーイングやディベート等では熱心な取り組みや他者理解による団結力の芽生えがありました。現状に翻弄しながらも、根拠に基づいた技術力や判断力の育成につながっていることが確信でき、個性ある一人ひとりの輝きに感動しました。

このように、学生は目標に向かって逞しく成長してくれています。保育科で取得した多くの資格（保育士、幼稚園免許、社会福祉主事任用資格、選択によって音楽療法士・こども音楽療育士）に介護福祉士を加え、高齢者施設は勿論のこと医療的ケア児対応の保育園や障がい児子育て支援など、時代の流れや多様なケースにも対応できる専門職として社会で活躍してくれることと思います。そして、それぞれの職場で中核的存在となることを期待しながら、質の高い人材育成および教育活動、ならびに介護福祉士国家試験の全員合格を目指します。



目標に挑戦する専攻科、入学して良かった

専攻科（福祉専攻）
山下　彩奈



専攻科入学直後に新型コロナウイルスの感染が拡大し、不規則な登学や遠隔授業が始まりました。一年間の限られた時間と先の見えない不安定な生活の中で、専攻科の修了や国家試験はどうなるのかという焦りが日ごとに増していきました。私は、アパートでの一人暮らしのため気分転換もできず、積もる不安に入学を後悔したこともありました。

そして、徐々に県内の感染状況が落ち着き対面授業ができるようになると、学友と励ましあいながら一緒に勉強できる喜びを味わいました。学校では、これまでの遅れを取り戻すように先生方が一人ひとりに気配りし、声かけをしてくださいました。また、中止になった実習に対してもあらゆる手段で準備してくださったことに、頑張ろうという気持ちが湧いてきました。少しずつではありますが、知識を結びつけることで不安が薄れ、分かった時の喜びを感じられるようになりました。

今は、通常通りの授業ができるようにな

り、学友同士で教えあったり先生に聞いたりして、勉強を頑張っています。今でも焦りはありますが、あの頃のような先の見えない不安ではなく、目標に挑戦する緊張感です。国家試験に全員で合格できるよう、自分の弱点を見つけ丁寧に取組んでいきたいと思います。そして、残りの時間を大切にし、最後は皆と笑顔で卒業したいです。

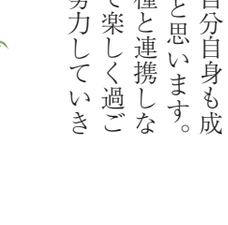
困惑の自粛生活と遠隔授業、ようやく実現した感動の介護実習

専攻科（福祉専攻）
宮永　樹



専攻科へ入学した頃、新型コロナウイルス感染拡大の影響で新しい生活や授業などの見通しがたたず、とても不安な日々でした。今思うと、遠隔授業で使うまとまったプリントや課題の山が一気に押し寄せ、感染対策や学習内容など全てを受け止めきれていませんでした。生活がガラリと変わった中、それを黙々と一人暮らしの部屋でやったのが苦い思い出です。

学校が再開し、授業や演習で少しずつ基本的知識や技術を学びました。実習にもなかなか行けない状況でしたが、その後よ



宮崎江南病院付属介護老人保健施設（令和元年度3月専攻科修了）

蒲生　捺美

昨年度専攻科を修了し、4月から宮崎江南病院付属介護老人保健施設で介護福祉士として働いています。これまでの約半年間、利用者様の食事や入浴など身の回りの介助を行っていますが、まだまだ不慣れなこともあります。しかし、利用者様の笑顔を見ることに喜びを感じ、職場の先輩方に支えられ、毎日新しいことを学んでいます。

就職してすぐの頃は、利用者様との関わり方や、身体状況に応じた対応が難しく、悩むことが多くありました。介護の仕事には正解がないため、日々試行錯誤しながら困った時には先輩方に相談し、それぞれのニーズに応じた介助が提供できるよう努力しています。

この仕事で心がけているのは、相手に与える影響を考え行動することです。これは、建学の精神である「礼節と勤労」や、専攻科で学んだ「コミュニケーション技術」が基礎となり、社会に出てから役割に対する責任とコミュニケーションの重要性を痛感しているからです。対人援助職者として、相手のことを知り自分のことも知っていただけるよう関係性を築いていきたいです。

まだまだ学ぶことは多くありますが、それぞれの思いに寄り添い心のこもったケアを提供し、利用者様やご家族、職員の方から信頼されるような介護福祉士を目指していきます。介護福祉士は人の優しさや温かさを直接感じることができ、自分自身も成長できるとても素敵な職業だと思います。これからも、自己研鑽し多職種と連携しながら、利用者様が毎日安心して楽しく過ごしていただけることを目標に努力していきたいと思います。

こども音楽教育センター

後藤　祐子

宮崎学園短期大学こども音楽教育センターは、平成3年に「母と子どものための音楽研究所」として誕生し、今年度30年目を迎えました。本センターでは、音や音楽で五感に働きかけながら、人の発達を促していくことを柱にしており、障がいのある、ないに関わらず、対象者がより自分らしい表現・自分らしい音楽を創り上げることを目指しセラピーやレッスンを行っています。

現在は、2歳～成人の方まで約百名の方々が通っており、八名のスタッフがレッスンを担当しています。ミュージック・セラピーコースではミュージックセラピストが、対象の方々に合わせて、多様な感覚を使った音や音楽でのアプローチを行い、心身の発達をサポートしています。また、乳幼児対象の音遊びでは、いろんな感覚を使って音や音楽を体験することを大切にしています。音や音楽に合わせて動いたり、季節ならではの遊びを音と一緒に体験したりと楽しく遊びながら身体いっぱいに音や音楽を体験し、一人ひとりが表現する楽しさを感じ、創造的な遊びの体験の場となるようレッスンを行っています。さらに、児童・成人の方々のレッスンでは、多様な楽器を用いて楽器を演奏したり、他者と一緒にアンサンブルしたりする中で、個々の音楽力を高めながら、いろんな人と音や音楽で交流し音楽を創っていくことを大切にしています。

このように対象によって目的や内容は様々ですが、音楽を通してセンターに通う方々が、より自分らしく柔軟に生きていく力をつけて欲しいと願い日々レッスンを行っています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、昨年度の3月に毎年行う「スプリング・コンサート」が中止となり、レッスンも年度の初め数ヶ月間休止していました。これまで当たり前だと思っていたことができなくなり、センターに通う皆さまとも会えない時間が過ぎていく中で、なんとか繋がりを持ちたいというセラピストたちの思いから、映像でのミュージック・レター配信を行いました。映像を観ながら遊べるもの、簡単なリズムアンサンブルや一緒に歌ったり踊ったりできる曲の演奏等々、対象の方に合わせた内容も考え、小さなことからでしたが、配信に挑戦しました。その結果、在籍の方々（保護者も含めて）にたいへん喜んでいただけて、やはり音楽で人は繋がれるのだと音楽の力を改めて実感しました。このような状況にあるからこそ、人と人の繋がりはかけがえのないものだと感じています。音楽で人の役に立つことのできる「こども音楽教育センター」であり続けたいと思います。

また、本センターは、本学保育科で養成している「こども音楽療育士」「音楽療法士（2種）」の実習施設としての役割も担っており、学生も一緒にセラピーやレッスンに参加し、対象者と触れ合いながら学びを深める場となっています。発達に遅れのある子どもたちとの関わりや、心身に重度の障がいのある方々との音楽を通しての関わりの中で、学生がたくさんの気付きを得て、成長していく姿をみることができることも大きな喜びです。









教員免許状更新講習

教務部長　原田　真理

【教員免許更新制について】

教員免許更新制は、平成21年4月からスタートしました。その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。

原則的に、有効期間満了日（修了確認期限）の2年2カ月から2カ月前までの2年間に、大学などが開設する30時間以上の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者（都道府県教育委員会）に申請する必要があります。また、有効期間の延長（修了確認期限の延期）が可能な理由に該当する場合や講習の免除対象者に該当する場合にも、そのために必要な申請などの手続きを行わなければなりません。

期限までに更新しないと、免許状は失効します。詳しくは、文部科学省、宮崎県等のホームページから確認できます。

【本学の更新講習について】

宮崎学園短期大学では、毎年幼稚園教諭の教員免許状更新講習を行っております。しかし、今年度の講習は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で開講できませんでした。ご迷惑をおかけしたことをお詫び申しあげます。

来年度の講習は、8月下旬実施の予定です。今回は、皆様の強いご要望にお応えして、30時間の講習を計画しております。必修領域6時間、選択必修領域6時間、選択領域3講座各6時間です。これにより本学の更新講習だけで、更新に必要な30時間を満たすことになります。ただし、新型コロナウイルス感染症の対策をとりながら実施しますので、受講者数を限らせていただかなければならないことが予想されます。ご理解くださいますようお願いいたします。詳細は決定次第本学ホームページに掲載しますので、こちらをご覧ください。

なお、免許状の更新に必要な時間には、複数大学の講習を組み合わせる等の方法が可能です。通信制の講習等の情報もインターネットで調べることができますので、ご都合に合わせた受講をお勧めします。

一年間の、学友会の取り組み

令和元年度の終わりころから社会を揺るがした新型コロナウイルスは、本学学友会にも大きな影響を与えました。令和元年度の卒業式は式典を中止し、変則的な実施となりました。例年、卒業式のあとには謝恩会が実施されますが、これも中止、引き続き、令和2年度の春の忍ヶ丘祭も、「三密」を避けられないとして中止となりました。その後、対面授業は再開されましたが、第二波の到来により不特定多数の参加が見込まれる、秋の忍ヶ丘祭も中止を余儀なくされています。

学生生活をより充実したものとするため、具体的には、春と秋の忍ヶ丘祭などを通じて、学友との交流を深め、学生時代の思い出をたくさん作ることを目標として学友会活動を企画してきました。本学の保育科、現代ビジネス科、専攻科はどの学科も学外実習があるため、感染対策が一層重要となります。全学生がそろう時期が限られている上、ウイルス対策を徹底する中での活動を新たに企画することに現在も取り組んでいますが、これは大変困難なことに思えます。

このような厳しい条件の中、学生たちは、日々の学生生活の中で勉学だけではない充実感や学生時代思い出を作れているだろうか、と学生の表情を見ています。特に一年生は入学当初から遠隔授業となりました。いち早く対面授業を開始し、一部の学外実習も実施することができました。二度の遠隔授業期間を経験した学生の表情は、思った以上に明るく、勉学だけでなく学生生活にも前向きに取り組んでくれているようです。

このような中、課題も多く抱えています。いただいている貴重な学友会費の扱いに加え、なにより、二年課程である本学においては、春・秋の忍ヶ丘祭を現一年生が体験していないなかで、令和3年度の学友会活動を企画しなければならないことが最大の課題であろうと考えています。

形に残る活動はあまりできていませんが、色々と考え試行錯誤し、そして、今まであったことが当たり前にあったわけではないことを改めて実感した令和2年となりました。



令和2年度学友会執行部員

新教職員紹介

教育の質保障



御手洗　正文
保育科

令和2年6月からＩＲセンター長を務め、10月より保育科の情報処理概論を担当しています。以前は宮崎大学に勤務し、名誉教授の称号を頂きました。研究は、主に人間工学分野のプログラム開発や脳波・筋電・心拍数等による人体負荷解析を行なっています。

ＩＲセンターの役割は、「大学の経営改善や学生支援、ならびに教育の質保障のために、学内データを収集・解析し、改善策の提案と施策の検証を行なうなど大学の意思決定の支援をする」ことです。本学では、３Ｐ（ＤＰ／ＣＰ／ＡＰ）が策定され、これに基づいた教育の展開・評価・改善への取り組みが毎年なされています。ＩＲセンターは、他の部局と連携して学内データの可視化と分析を進め、学生さんが建学の精神と優れた専門的資質を修得して巣立つことができるように努めてまいります。

共に



鶴田　雄一
現代ビジネス科

令和2年度より、現代ビジネス科の学生を中心に授業をすることになりました鶴田雄一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度までは、県立高校に勤務しておりましたが、私が担当する多くの科目では、教科書を使用せず手作り教材で授業を展開することに正直不安もありました。でも、本学の明るい学生の皆さんのお陰で何とかやれているような気がします。

今、新型コロナウイルスの感染拡大により、社会は先行き不透明で今後もますます混沌としてくるかもしれません。しかし、このような答えのない社会だからこそ挑戦する価値があり、生き抜く本物の力が必要だと思われます。学生たちが高みを掴めるよう、私自身、今後ともさらに研究を深め、真に力のつく授業の創造に向けて努めてまいります。共に頑張っていきましょう。

「気付き、考え、行動する」保育者に



南中道　隆
保育科

本年度より、保育科講師として勤務させていただくことになりました。

さて、標題の「気付き、考え、行動する」という言葉は、昨年度まで勤めていた小学校の教育目標で、加盟していた青少年赤十字の行動目標から引用したものです。自分の周りにいる他者にまで思いを馳せ、その人に困り感などがあれば感じ取り、その解消のために進んで行動する子どもであってほしいとの願いから学校の教育目標に据えたものです。本学の建学の精神である「礼節・勤労」も、まさにこの精神に合致しています。また、最近良く耳にする「ＳＤＧｓ：持続可能な開発目標」もその根底にあるものは「気付き、考え、行動する」ことであると考えます。そして、何より将来保育者としてかわいい子どもたちの成長を支えていく保育科の学生に身に付けてほしい資質です。そのために微力ですが老体に鞭打ちながら頑張っていく所存です。よろしくお願いします。

この一年



安藤　三紀夫
保育科

38年間の教職生活を終え、宮崎市立小中学校のスクールアドバイザーを一年間務めた後、本年度から本学にお世話になっています。

まずは、学生の名前を覚えることから始めました。翌日に授業のあるクラスの学生の名前を、毎晩、ノートに書いて覚えるようにし、約４週間続けたころに関係学生約１８０名の顔と名前を覚えることができました。授業においては毎時間、時を守らせ、「語先後礼」の挨拶が全員そろってから授業を始めました。授業中の学生の笑顔の向こう側には明るい未来が待っていることを信じ、「語先後礼」の挨拶で授業を終えました。授業後は学生が毎時間、授業の振り返りなどを記録する学習ノートに目を通し、一人一人に会話代わりにコメントを書き込むとともに授業改善に生かさせてもらいました。

この一年、学生との出会いに感謝するとともに「教育は、偶然の出会いを必然にする営みである」ことを意識しながら学生と関わってきました。今後も、私自身「教えられ育てられていく存在」であることを忘れずに、明るい声が響き合う笑顔いっぱいの学生で溢れるキャンパスを思い描きながら、日々精進していきたいと考えています。



新しい情報の発信者へ



松田　昭憲
保育科

令和2年4月より保育科の講師として勤務し、2年Bクラスの学級主任をしています。これまで、特別支援学校や小・中・高等学校で特別支援の巡回相談をしてきましたが、今年から保育科という新しい環境で、初めて経験することが多く戸惑いがちです。しかし、元気で優しい学生や教職員の方々に助けられ、後期を迎えることができました。

また、講義では特別支援教育のⅠを一年生、Ⅱを二年生で担当しています。最近、保育園や幼稚園で、気になる子どもが増えていると思います。そのため、今後は特別支援教育がカリキュラムの核となると考えています。そこで、特別支援教育の「現場で役立つ知識のある学生」「園の中で新しい情報の発信者となれる学生」を育てられたら…と思っています。

感性を育む明教庵



山本　優子
保育科

令和2年4月より保育科の教員として勤務しています。担当科目は「人間の研究Ⅰa（礼節）」「人間の研究Ⅰb（礼節）」「保育実習指導Ⅰ・Ⅱ」です。また、保育科1年F―1クラスの学級主任を務めています。

「礼節」の精神では自他の人間性を尊重し、自らを律し、他者の立場に立って物事を考えることを目指します。今なすべきこと、他者から求められていることが何であるかを想像し、自ら考え行動する力をつけることです。授業においては日常生活や公の場での人と人との関わり方、TPOに応じた立ち居振る舞いや言葉遣い、もてなしの心などを学びます。

地域の方々とのつながりを大切にし、実践を通して社会に貢献できる人材の育成に努めていりたいと思っています。

失敗を恐れずに！



スタンリー美奈子
総務課

令和2年4月より、宮崎学園短期大学総務課に所属となりましたスタンリー美奈子と申します。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、自宅待機や分散登学という形で学期がスタートしました。対面授業が再開されると、学生さんの明るい挨拶と笑い声がまた学び舎に戻り、新たな形で日常を送れることをありがたく感じています。

私が担当させていただいている総務課の仕事は多岐にわたります。安心して有意義な学生生活を送れるようサポートすることが重要な任務です。必要な知識の修得や社会に出る準備をするのに二年間はあっという間だと思います。失敗を恐れず、色々なことにチャレンジしていただきたいと思います。私のモットーはNo pain, no gainです。学生の皆さん応援しています。

人生はチャレンジ



阿萬　和弘
総務課技術員

こんにちは。まず始めに、私の経歴紹介をしたいと思います。私は農家の長男として昭和33年に生を受けました。宮崎農業高校を卒業し、家業を継ぐか自分のしたいことをするか悩みましたが、自動車整備士になるという夢に向かって就職しました。色々大変なことがたくさんありましたが、気が付けば30年という月日が過ぎていました。

一度きりの人生と思い、今度は大型バスの運転手になりました。学生の皆さんも一度は私の運転する宮交バスに乗ったことがあるかもしれませんね。

一昨年12月に定年を迎えて、昨年4月より当短期大学でスクールバスの運転手をしています。今までの経験を生かし、学生の皆さんが楽しい大学生活を送れるよう手助けしたいと思っています。

令和2年度 就職状況中間報告

就職・進学支援課（令和3年3月1日現在）

業種別就職内定者数

業種	保育科	現代ビジネス科	専攻科	合計
建設業		3		3
製造業		2		2
情報通信業		3		3
運輸業				
卸売・小売業		5		5
金融・保険業		1		1
不動産業				
サービス業	4	1		5
宿泊・飲食業				
生活関連サービス業				
教育・学習支援業（幼稚園）	12	2		14
医療・福祉（保育園）	130	11	23	164
複合サービス事業				
公務員	1			1
専攻科	25			25
他進学		1		1
合計	172	29	23	224

令和2年度卒業生 就職先一覧

令和3年3月1日現在

建設業
宮崎工設、エス・ケイ・ジー、サンエク

製造業
ハニー、日伸洗車機

情報通信業
キャデック、国際コンピュータ、スカラ

卸売・小売業
宮崎山形屋、マルイチ、テヅカ、都城ヤクルト販売、ビューフィールド、ドラッグストアモリ

医療
宮崎生協病院、宮崎中央眼科病院、まつばし川野整形外科、高宮病院、千代田病院、佐藤小児科、なつみ小児科、いまいクリニック、柏厚生総合病院

金融
宮崎太陽銀行

教育
学校法人宮崎学園（事務）、学校法人天竜学園（事務）

サービス
植松商事、メルヘンスポーツ、エバーライフ、ヘアーメイクエイト

幼稚園
木花幼稚園、宮崎至慶幼稚園、あおぞら幼稚園、第二和光幼稚園、育英幼稚園、城山幼稚園、一つ岡幼稚園、学校法人昭和学園、さくら幼稚園、都城聖ドミニコ学園幼稚園

認定こども園
宮崎学園短期大学附属幼稚園、学校法人天竜学園、学校法人富高学園、住吉幼稚園、高鍋カトリック聖母幼稚園、あおしま幼稚園、西都カトリック幼稚園、光が丘幼稚園、木の花幼稚園、西都ふたば幼稚園、ひろせ幼稚園、あがた幼稚園、にちなん幼稚園、南宮崎カトリック幼稚園、日南・飫肥カトリック幼稚園、清武社会福祉会、都城社会福祉協議会、認定こども園よいこのもり、昭和認定こども園、三名こども園、朋こども園、志比田こども園、川東さくらんぼこども園、ふたば認定こども園、とほくこども園、まなびこども園、光照こども園、大塚原こども園、くどみ児友園、ほうざい保育園、まんがつか認定こども園、あゆみこども園、うちやまこども園、加納ひまわり幼保園、みなみこども園、めいつ保育園、さくらさくら認定こども園、ももの木こども園、くるみ保育園、霧島幼保学園、のぞみ保育園、ひまわり保育園（小林市）、潮見こども園、イングリッシュ幼児園、恵愛こども園、ひばりこども園、那珂こども園、島之内保育園、さんこうこどもえん、認定こども園きらり

保育園
穆佐保育園、高岡中央保育園、たかふさ保育園、みずほ保育園、やまびこ福祉会　飯野保育園、みつばち乳児保育園、一真保育園、社会福祉法人浄信会保育園、富高保育園、江平保育園、ひので保育園、かわなか保育園、大宮保育園、わかば保育園、三宮保育園、ひまわり保育園、あけぼの保育園、まつぼっくり保育園、ととろ保育園、緑ヶ丘保育園、稚児ヶ池保育園、社会福祉法人巴会、宮崎福祉会、ひがし保育園、つくしんぼ保育園、わかば保育園（都城市）、こおりもと保育園、一ツ葉保育園、下長飯保育園、ひなもり保育園、ひなたほいくえん、宮崎駅東小規模保育園、石井記念都農保育園、和光保育園、宮崎至慶保育園、大塚台西保育園、つみき保育園、たいよう保育園、いずみ保育園、高洲保育園、フェニックスキッズ、ニチイ駅前保育園、ひよこ保育園、菓子野保育園、西新保育園

福祉施設
宮崎県社会福祉事業団、みんせいかん、みどり学園、カリタス竹の寮、さくら学園、あさひ学園、巴会、はまゆう園、放課後デイサービスＢＡＳＩＳ、放課後デイサービスふうせん、放課後デイサービスハッピーワークス、放課後デイサービスこすもす、放課後デイサービスら・ぽるて、特別養護老人ホームしらふじ、博風会（事務）

公務員
西米良村

進学
宮崎公立大学

内部進学
宮崎学園短期大学　専攻科（福祉専攻）



令和2年度　オープンキャンパス報告

オープンキャンパス検討委員会　戸敷　早苗

今年は新型コロナウイルス感染、大雨・台風等の影響により、例年になく予定の変更に見舞われる一年となりました。3月に予定されていたオープンキャンパス（3／15）、選抜試験に向けた小論文対策講座（6／14）、第2回オープンキャンパス（8／2）が中止となる中、やっとの思いで開催された第1回オープンキャンパス（7／12）、ミニオープンキャンパス（9／13、10／4）は、三密対策や感染症予防など安全に十分留意しながら、教職員及び係学生が一丸となり来学された方々への歓迎の気持ちを込めて、精一杯のおもてなしをすることができました。

何かと制限の多いオープンキャンパスではありましたが、この忍ヶ丘に実際に足を運んでいただいた方々にとって入学後の学生生活への夢や期待が膨らむ一日になったのであれば嬉しく思います。


保育科ミニ講座


現代ビジネス科ミニ講座


個別相談会


入館前の検温

オンライン オープンキャンパスを 開催

夏のオープンキャンパスについては、7月はなんとか普段どおりに実施できましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が色濃くなった8／2（日）の分は、リアルな来場型から公式ＹｏｕＴｕｂｅの生配信機能を駆使するオンライン型に切り替えて実施しました。

オンラインオープンキャンパスでは、教員一押しの在学生2人がＭＣを務め、令和3年度入学生向け選抜試験制度の解説や高校生からよくある質問に対して学生が答えるコーナーも設けました。

二人のやりとりは軽妙で、高校生の心を掴み、視聴数は実に千回以上を超え、多くの高評価を頂きました。

オンラインオープンキャンパスの様子はこちらから視聴できます



令和4年度入学者選抜試験日程

学科選抜日程

試験区分		出願期間（出願最終日17時必着）	試験日	合格発表（一部を除き12時）	入学手続締切（17時必着）
総合型選抜	一期	2021年 9月1日（水）～9月10日（金）	2021年 9月18日（土）	2021年 11月1日（月） （10月始めに学校へ内定通知）	2021年 11月25日（木）
	二期	2021年 10月1日（金）～10月8日（金）	2021年 10月16日（土）	2021年 11月1日（月）	2021年 11月25日（木）
	三期	2021年 12月1日（水）～12月14日（火）	2021年 12月18日（土）	2021年 12月24日（金）	2022年 1月28日（金）
	四期	2022年 1月14日（金）～1月28日（金）	2022年 2月5日（土）	2022年 2月17日（木）	2022年 3月11日（金）
	五期	2022年 3月7日（月）～3月16日（水）	2022年 3月22日（火）	2022年 3月24日（木） ※15時	2022年 3月30日（水）
学校推薦型選抜Ⅰ（専願）		2021年 11月1日（月）～11月12日（金）	2021年 11月20日（土）	2021年 12月1日（水）	2021年 12月24日（金）
学校推薦型選抜Ⅱ（併願可能）		2021年 12月1日（水）～12月14日（火）	2021年 12月18日（土）	2021年 12月24日（金） （専願、併願とも）	専願の場合 2022年1月28日（金） 併願の場合 2022年3月11日（金）
一般選抜	一期	2022年 1月14日（金）～1月28日（金）	2022年 2月5日（土）	2022年 2月17日（木）	2022年 3月11日（金）
	二期	2022年 3月7日（月）～3月16日（水）	2022年 3月22日（火）	2022年 3月24日（木） ※15時	2022年 3月30日（水）
大学入学共通テスト利用選抜	一期	2022年 1月13日（木）～2月3日（木）	本学独自の試験は課さない	2022年 2月17日（木）	2022年 3月11日（金）
	二期	2022年 2月14日（月）～3月8日（火）	本学独自の試験は課さない	2022年 3月17日（木）	2022年 3月30日（水）
	三期	2022年 3月9日（水）～3月17日（木）	本学独自の試験は課さない	2022年 3月24日（木） ※15時	2022年 3月30日（水）
社会人選抜	一期	2021年 9月1日（水）～9月10日（金）	2021年 9月18日（土）	2021年 11月1日（月）	2021年 11月25日（木）
	二期	2021年 10月1日（金）～10月8日（金）	2021年 10月16日（土）	2021年 11月1日（月）	2021年 11月25日（木）
	三期	2022年 1月14日（金）～1月28日（金）	2022年 2月5日（土）	2022年 2月17日（木）	2022年 3月11日（金）
外国人留学生選抜・帰国子女選抜		2022年 1月14日（金）～1月28日（金）	2022年 2月5日（土）	2022年 2月17日（木）	2022年 3月11日（金）

※詳しくは6月以降配布予定の「2022学生募集要項」をご確認ください。

保育士資格をお持ちの方へ

専攻科で介護福祉士(国家資格)を取得しませんか?



近年、少子高齢化により、保育所等に高齢者施設を併設する動きが顕著になっています。このような併設事業所は宮崎県内においても40カ所以上にのぼります。

保育士資格をお持ちの方で、介護分野に興味がある方、本学専攻科（福祉専攻）で介護福祉士を目指しませんか。保育士資格をお持ちの方であれば、1年間で介護福祉士（国家試験受験資格）を取得できます。すでにお持ちの「保育士」「幼稚園教諭（2種）」「社会福祉主事任用資格」に加え、「介護福祉士」の資格があるがあることにより、子どもから高齢者に係わる職場で活躍でき、就職選択の幅が大きく広がります。さらに、介護福祉士修学資金等貸付制度（年間100万円以上）もあります。（宮崎県内の施設において5年間介護等の業務に従事することで返還免除）。

本学では一般の方々にも受験していただける入試制度を設けています。是非ご利用ください。詳しくは2022年度学生募集要項をご覧ください。







専攻科入学試験日程

試験区分	試験場	出願期間（出願最終日17時必着）	試験日	合格発表（12時）	入学手続締切（17時必着）
一般入試（一期） 社会人入試（一期）	本学	2021年 4/19（月）～5/10（月）	2021年 5月15日（土）	2021年 5月21日（金）	2021年 5月28日（金）
一般入試（二期） 社会人入試（二期）		2021年 6/14（月）～6/30（水）	2021年 7月3日（土）	2021年 7月9日（金）	2021年 7月26日（月）
一般入試（三期） 社会人入試（三期）		2021年 11/18（木）～12/14（火）	2021年 12月18日（土）	2021年 12月24日（金）	2022年 1月28日（金）
一般入試（四期） 社会人入試（四期）		2022年 1/14（金）～1/28（金）	2022年 2月5日（土）	2022年 2月17日（木）	2022年 3月11日（金）

資料請求先

宮崎学園短期大学 入試広報部 0120-310-796 TEL.0985-85-0146
〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1415番地 FAX 0985-85-0101 https://www.mgjc.ac.jp/

しのぶ会だより

総会員19,984名（令和3年2月現在）

校歌を歌いましょう

作詞は、国文科名物教授　狩野　満先生です。
作曲は石田良男先生です。歌詞を読めば、学生時代の思い出が沸いてくるはずです。
歌詞の下のＱＲコードをスマホで読み取るとメロディーが流れます。
是非、懐かしい校歌を口ずさんで見てください。

宮崎女子短期大学・宮崎学園短期大学校歌

作詞　狩野　満／作曲　石田　良男

一、美しや　霧島山を見はるかし
　風わたる忍ヶ丘に
　学舎立てり　われらが母校
　集ひきてけふこそ学べ
　若きわれらの夢ははるけし

二、学ばずや　清武川の水光り
　古き日の歴史のあとに
　学舎立てり　われらが母校
　人らしき人にあるべく
　若きわれらの道ははけはしき

三、讃へずや　学の自由を旗として
　新しきあすをめざすと
　学舎立てり　われらが母校
　よき友に会ひて語らん
　若きわれらの花は友垣

四、ゆかしきや　白雲遠く消ゆる果て
　南国の潮騒ききて
　学舎立てり　われらが母校
　時うつり別れゆくとも
　若きわれらの胸うたはむ
　ああわれらが母校
　われらが母校



こんなに変化しています

ベネッセの「たまひよ名前ランキング」によると令和二年生まれの赤ちゃんの名前は、男の子の一位が三年連続で蓮（れん）、女の子が五年連続で陽葵（ひまり）でした。ベスト五は以下の通りとなっています。

◆男の子　一位　れん　　二位　はると　　三位　あおい
　四位　いつき　　五位　みなと
◆女の子　一位　ひまり　　二位　ゆいな　　三位　りこ
　四位　めい　　五位　つむぎ

それでは、宮崎女子短期大学・宮崎学園短期大学の昭和四十年から令和二年までの入学生の名前ベスト十の変遷はどのようになっているのでしょうか。ちょっと調べてみました。

／	昭和四十二（一九六七）	昭和五十二（一九七七）	昭和六十二（一九八七）	平成九（一九九七）	平成十九（二〇〇七）	平成二十九（二〇一七）	令和二（二〇二〇）
一位	かずこ	ようこ	じゅんこ	みき	みさと	ほのか	ももか
二位	けいこ	ひろこ	ゆみこ	ともこ	あゆみ	なつみ	ゆい
三位	よしこ	けいこ	ようこ	なおこ	まなみ	みずき	ゆうか
四位	みちこ	ゆうこ	ゆうこ	ゆうこ	かおり	かな	みさき
五位	ひろこ	ゆみこ	けいこ	ともみ	めぐみ	まい	りんか
六位	のりこ	ともこ	まゆみ	ひろみ	ゆうか	あいか	みゆ
七位	りつこ	かよこ	なおみ	かなこ	ゆかり	あゆみ	りん
八位	ようこ	じゅんこ	ひろみ	あゆみ	あやか	かなこ	あいか
九位	みほこ	せつこ	ゆみ	かおり	なお	ともか	あおい
十位	とみこ	さちこ	みき	りえ	みき	はるか	あかり

昭和四十二年入学生の名前ベスト一～十位まで全て最後に「こ子」のつく名前です。その現象は十年後の昭和五十二年入学生も同様です。その十年後の昭和六十二年入学生のベスト五は「こ　子」がついていますが、ベスト六～十は、最後に「み」がつく名前が目立ってきました。そして平成九年入学生は、ベスト六～十は、ひろみ　かなこ　あゆみ　かおり　りえ、平成十九年は　一位から十位まで「こ　子」のつく名前は消えてしまいました。

また、平成十九年以降は一位の名前の数も一桁となり、個性溢れる名前が増えると共に、漢字表記では読み取れない名前も増えてきました。

名前の由来は、時代だけでなく、両親のこどもに期待する想いや、漢字の持つ意味・音の響き等を反映しているようです。

これを機に、自分の名前の由来を確認してみるのも面白いと思います。



母校からの近況報告

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大により様々な行事が開催されず、季節の変化を感じない一年となりました。しのぶ会会員の皆様も大変な毎日だったと思います。

しのぶ会の活動も、今年は同窓会（クラス会）開催が一件でした。そうなると忍ヶ丘の掲載記事がなくなります。

今号は同窓会会長山本会長以下、役員ががんばるしかありません。



しのぶ会 会長
昭和四十二年三月保育科卒

山本(旧姓　那須)千鶴子

五十六年前となる昭和四十年四月、中野の山道を母と一緒にバスに揺られ、不安と期待に胸膨らませながら、第一回生として入学式に臨んだ日の光景が今も色鮮やかに蘇ってきます。自然豊かな環境の中で、ピアノの練習に明け暮れ、実習に向けての心構えや、保母（当時の名称）として何が必要なのか等、様々な専門的な知識を学びました。初めての実習では、経験豊富な保母さんたちに二十歳前後の私たちは圧倒されたものです。でも、実習先の園長先生から「立ってみているだけでは何も得られません。とにかく子どもたちと一緒に遊びなさい。そうすれば、子どもたちの方からあなたの廻りに集まってくれるよ。」と言われました。

子どもたちに好かれる先生になること、そうすれば自然に子どもたちから教えられ、自分が成長できる等、二週間の実習で自分が成長できる貴重な日々の大切さを教えてもらいました。

学生生活では、自分の趣味を生かし、指人形や紙芝居等を作成し、実習先の子どもたちに見せてやると大喜びでした。下校時は木々の間の坂道を駆け下り、列車の時間まで清武川に設置されていたボート（小舟）で遊んだものです。

学生時代の二年間で学んだ「礼節と勤労」の精神は、私たち学生にとっては自然に受入れられたと感じています。この「礼節と勤労」の建学の精神から、自ら学ぶという学生時代の経験を通して福祉の芽が芽吹き、それが一生の仕事としての基盤となり、自信に繋がっていったと感謝しております。

時代は流れても、「礼節と勤労」の精神をしっかり学び、苦難の道にも負けず、自らの力で実社会を切り開いて行ける社会人になられることを強く希望します。



しのぶ会 副会長
昭和五十九年三月初等教育科卒

木脇(旧姓　脇)孝子

私が生まれて高校まで過ごしたえびの市は、四季折々の自然をたくさん感じられる、そんなところです。今でこそ多くの雪は降りませんが、幼少期には、毎年のように膝まで雪に埋もれながら頬を真っ赤にして遊んだものです。また、小学生の頃は、夏休みには友達と川遊びを楽しみ、自然を満喫していました。さらに、友だちと別れて一人で自転車を走らせ、まるで秘密基地を探すかのように、色々な場所を巡りました。自分でも「きれい」「すごい」等と声が出る程感動する場所を見つけた時には、ここに来られて良かったと、発見したことを喜んだものです。

そして、他にも鮮明に思い出すことは、祖母の家でのことです。鹿児島の田舎に一人で暮らしていた祖母の家に行くことをとても楽しみにしていました。その当時、風呂場が外にあり、最初はいやだった入浴でしたが、隙間からも見える星の綺麗さに、いつの間にか楽しみに変わっていきました。それでも、冬の寒さの方が強く星を見るどころではありませんでしたが、風呂場が室内に変わってからは、星を見ることもなく少し残念な思いもありました。他にも、カブトムシ取り、蚊帳の中での就寝、スイカ割り、畑作業の手伝い……祖母と過ごした時間は本当に楽しい思い出となっています。祖母宅を後にする時、いつまでもいつまでも車に手を振る祖母の姿を、今でも忘れることはできません。

今では、生活のほとんどが便利になり、様々な情報を直ぐに知ることができます。そのことに有り難さを感じながら、昔を思い出し星を見ることがあります。

えびので見ていた星、祖母の家で見ていた星、今にも降ってきそうだった星。今も、その時と同じような夜空を見ることができる嬉しさを感じています。小さい頃経験したたくさんのことを、これからも大事に思い出としてしまっておこうと思います。



しのぶ会 理事
昭和六十二年三月保育科卒

河野(旧姓　中山)静香

十月に父の法事の為、お寺に家族で出掛けました。父は七十歳で亡くなりました。もう二十三年になります。法事の終了後、住職さんとの会話で、甥っ子たちの立ち居振る舞いを褒めていただきました。私はとても嬉しくなりました。「実の娘や息子が仏様の前で手を合わせるのは当たり前のこと。でも、その姿を見て子孫たちがどのように故人を偲び、ご先祖を敬う気持ちを持つことは大切。」と話されました。

私は、現職で保育の現場にいます。毎日、子どもたちのことで精一杯の自分に、ふと住職の言葉を思い出し、私が伝えている言葉や振る舞い、表情、思い等を目の前の子どもたちは吸収しているのだ、と愕然とする時があります。

私も毎朝、大好きだった祖父と父の遺影と今は老健施設に入所している母の写真に手を合わせ、今日も笑顔で言ってくると話しかけています。日々、後悔しないよう過ごしたいです。



しのぶ会 会計
平成六年三月英語科卒

山本　郷子

誕生日を十二月に迎えます。

通常は、家族が食事に連れて行ってくれてお祝いをしてくれます。

しかし、今年は食事には行けない。コロナ禍だから。

そして考えました。今年は何をして思い出にしよう。何か人の為になることをしたいと考え、これからの未来のある子どもたちへの手助けとして、子ども食堂に食料を寄付することとしました。

調べてみると『直接事務所に要持参』。

電話して先方に欲しいものを聞いてみると材料を炒める為の油が欲しいと言われました。

事務所は土日は休みで、平日は六時までと言われ……。

とりあえず、油を買いにスーパーへ行きました。子どもが口にするのだから安さではなく、身体にいいものをと酸化しにくい油を選びました。

年末に事務所に届ける予定。
これを機に継続して寄付できたらいいなと思います。



しのぶ会 副会長
昭和五十一年三月国文科卒

野﨑（旧姓　鍋倉）豊子

卒業生の皆さん。お元気でしょうか。
私は、卒業と同時に母校の図書館司書として勤務。学生時代正門を出たところにあった学生寮跡地に開設された宮崎女子専門学校に異動し、その後出産を機に退職しましたが、再度昭和五十九年から短大の事務局へ勤務し現在に至っております。
初代、綾哲一学長から七代目の現職、宗和太郎学長まで歴代の学長全員とご一緒しているのはおそらくもう私だけかもしれません。約四十数年の間、学科・校舎・学生・教職員の変化をずっと見ながら母校に勤務しております。変わらないのは、建学の精神「礼節・勤労」・基準服・校章そして本誌の表紙の「在美心」の掛軸だけでしょうか。
私たち国文科は、木造の白い二階建ての校舎の一階の一番隅の教室で、国文学演習の授業を受講しました。廊下は軋み、窓枠は勿論木製のため、隙間風が吹き、冬は凍えながらコートを着て授業を受けていましたが、それでも充実した学生生活でした。
図書館司書として勤務した次の年、現在の本館が完成し、当時三号館一階にあった図書館から本館二階に引っ越しました。また、平成二十七年からの二年間は事務局長という立場で一号館から三号館までを取り壊し、新館の建設に当たり、完成までの約二年間はほぼ毎日のように学内のどこかで引っ越し作業を行っていました。どうも引っ越しには縁があるようです。通常業務を行いながら、この大事業をよくやり遂げたと、今でも関係した教職員に感謝しております。
その汗と涙の結晶により、全館冷暖房完備、エレベータ設置、人感センサー付照明・パウダールームや自動温水洗浄器付のトイレ、全教室ＩＴ機器完備等、教育環境は素晴らしいものになっています。私の知る限りの四十数年の間に、全てが変わってしまいました。
私は、現在同窓会しのぶ会の仕事にも携わっております。
卒業生の皆さん。是非、新しくなった母校を見に来てください。お待ちしております。
現在の私は、樹木希林さんの言葉「時が来たら、誇りを持って脇にどけ」を心に刻み、忍ヶ丘での残りの日々を過ごしているところです。

同窓会から

■昭和五十七年三月
保育科Ｃ・Ｄ組卒業

幹事　斉藤（旧姓　児玉）悦子

コロナ禍の中、実施するかしないかをとても悩みましたが、矢口先生からの助言「五十九歳という年は今しかない！」という言葉で実施することにしました。
一年振りの友や四十年振りの友もいて、話をするうちに月日の空白も忘れてしまうほどでした。アルバムを持参してくれた友もいて、若い時分の写真にみんな笑顔で懐かしんでいました。
近況では、ついつい熱く語ったり、自身や身内に大病を患っている友もいて、健康の大切さをつくづく感じたことでした。
来年は還暦。日南組へ幹事をバトンタッチして、お泊まり同窓会も頭に入れつつ、会をお開きとしました。



幹事　迫（旧姓　稲岡）明美
垣内（旧姓　安藤）佐智代

予定通りには進まないことは承知の上で、敢えて式次第を貼り進めていった同窓会。案の定、話が止まらない矢口先生や友の話を「さぁ、では次に移りま～す。」とバッサリ。先生の「おい！」という愛あるまなざしを感じながらも、次から次へと進めて行きました。
私たち幹事三人がワクワクしながら打ち合わせを重ね準備をしたゲームやプレゼント、サプライズの演出は大成功！　先生やみんなに喜んで頂き、十一月十四日の夜はとても楽しい時間でした。
その数日後、宮崎もコロナが再び広がり、飲食店への規制が入りました、ギリギリ実施できた貴重な同窓会でした。

■昭和五十五年三月　保育科Ｄ組卒業

幹事　岩尾（旧姓　岩切）久子
黒木（旧姓　末原）稔世

昨年の同窓会の折、「来年は令和元年、還暦同窓会をしよう！　お泊まりで。」と日程も決まり一年がかりの心づもりと準備でありましたが、この年齢になると介護や、孫の世話、自分の健康管理等々、当月になってキャンセルもあり十名の参集となりました。
・二十年振りに出席しました。二十年振りとは思えないほど楽しい時間を過ごせました。参加して良かった。　太田　聡子
・今年も集まりました。還暦！　これからも元気に過ごします。　野田由紀子
・還暦祝いの集まり、青島神社とても良かったです。雨で寒かったけど、心は温かくなったと思います。　茂　悦子
・プレゼント交換、しゃべって、食べて、童心に戻っての楽しい時間を分かちあったね。有難う。　深江　純子
・今日の日を有難う。卒業から四十年、ウソーと思うくらい自分の成長を感じていないけど、見た目は明らか……　當瀬　郷子
・宿泊同窓会。少ない人数でしたが、じっくりと話ができて楽しかったです。　丸山奈津子
・初のお泊まり同窓会。ゆっくりと話して飲めて、楽しい昔話がいっぱい聞けて良かったです。有難うございました。　上原百合子
・六十歳の誕生日をみんなで楽しく過ごせて、良い思い出になりました。有難う。　岩尾　久子
・教え子が六十に。ありがたい幸せに感謝です。　やぐちひろやす
・皆で還暦の節目を祝えて良かった！　良かった！　これからも、コツコツと幸せを刻んでいきましょう。　黒木　稔世





※同窓会は、令和元年十二月に開催し、令和二年三月申請の為、一年遅れの掲載となりました。

お知らせ

「潜在保育士」への再チャレンジ 支援補助事業（宮崎市）

これまでは「常勤保育士」として再就職した場合に限り支援を行ってきましたが、令和2年度より対象を拡大し、「非常勤保育士」として再就職した場合も、支援を行います。

●常勤保育士として再就職する場合
①月額15，000円（上限）
②補助期間　最長36ヶ月間
③補助要件
・常勤の保育士等として採用されていること。
※月120時間以上の勤務
・過去1ヶ年度（4月1日から翌年3月31日）を超える期間において、保育を行う業務に携わっていないこと。
・平成29年4月1日以降に保育所等での勤務を開始していること。

●非常勤保育士として再就職する場合
①月額7，500円（上限）
②補助期間　最長36ヶ月間
③補助要件
・非常勤の保育士等として採用されていること。
※月80時間以上120時間未満の勤務
・過去1ヶ年度（4月1日から翌年3月31日）を超える期間において、保育を行う業務に携わっていないこと。
・令和2年4月1日以降に保育所等での勤務を開始していること。

注意事項…非常勤保育士として採用後、常勤保育士になった場合は、最長36ヶ月の範囲で、補助は継続できますが、常勤保育士から非常勤保育士になった場合は、その時点で補助は終了となります。

【お問合せ先】
宮崎市子ども未来部保育幼稚園課
電話　0985（21）1774
FAX　0985（27）0712
E-mail　10jidou@city.miyazaki.miyazaki.jp

「忍ヶ丘」の発送について

毎年3月に本誌「忍ヶ丘」をお送りしておりますが、不要な方は末頁の連絡カードでお知らせください。

■しのぶ会連絡先

〒889-1605　宮崎市清武町加納丙1415番地
宮崎学園短期大学同窓会　しのぶ会事務局
TEL　0985（85）0146
FAX　0985（85）0101

ご利用ください！

＊　この用紙は、宮崎学園短期大学（宮崎女子短期大学）卒業生用証明書申込用紙です。
＊　証明書が必要な場合は、この用紙をご利用ください。
＊　証明書申込みの際、現住所等に移動があった場合は、しのぶ会事務局にて住所等を変更しますので、異動通知を出す必要はありません。

※　各項目は、必ずご記入ください。記入・押印漏れのある場合は、発送ができませんのでお気を付けください。
※　学籍番号につきましては、不明の場合記入する必要はありません。
※　内容確認をおこなう場合がありますので、必ず連絡できる住所・電話番号をご記入ください。

証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数
卒業証明書		保育士資格証明書	
成績証明書		司書講習終了証明書	
学力に関する証明書			

＊証明書1枚につき300円　**金額合計**　　円

卒業年　昭和・平成・令和　　年　　月卒業
学科名等　　科　　組　　コース
学籍番号
生年月日　昭和・平成　　年　　月　　日生
現氏名　　㊞
（旧姓　　）
現住所　〒　　－
電話番号　（　　）　　－
（希望送付郵便　普通・速達）

証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数
卒業証明書		保育士資格証明書	
成績証明書		司書講習終了証明書	
学力に関する証明書			

＊証明書1枚につき300円　**金額合計**　　円

卒業年　昭和・平成・令和　　年　　月卒業
学科名等　　科　　組　　コース
学籍番号
生年月日　昭和・平成　　年　　月　　日生
現氏名　　㊞
（旧姓　　）
現住所　〒　　－
電話番号　（　　）　　－
（希望送付郵便　普通・速達）

異動通知連絡カード

※どちらかを○で囲む　　年　月　日報告

①本人の肩正・異動通知 ②架人（本人以外）の肩正・異動通知	掲載頁 頁	年版 行目	
※②の場合 連絡者名		卒年 学科	昭和・平成・令和　年 科　組

卒業年学科	昭和・平成・令和　年　科　組		（不明者No　）
フリガナ	㊞	旧姓	㊞
氏名		（　）	
現住所	〒		
勤務先		市外局番　市内局番　番号 ☎　（　）	

・宮崎県内在住者は県名を省略 ・自営の方は社名・店名を記入　**注意**　「1丁目2番3号」は「1－2－3」のように記入

確認事項 同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する　・　希望しない

異動通知連絡カード

※どちらかを○で囲む　　年　月　日報告

①本人の肩正・異動通知 ②架人（本人以外）の肩正・異動通知	掲載頁 頁	年版 行目	
※②の場合 連絡者名		卒年 学科	昭和・平成・令和　年 科　組

卒業年学科	昭和・平成・令和　年　科　組		（不明者No　）
フリガナ	㊞	旧姓	㊞
氏名		（　）	
現住所	〒		
勤務先		市外局番　市内局番　番号 ☎　（　）	

・宮崎県内在住者は県名を省略 ・自営の方は社名・店名を記入　**注意**　「1丁目2番3号」は「1－2－3」のように記入

確認事項 同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する　・　希望しない

異動連絡は必ず出してください！

会員の皆様方の身上に異動が生じた時には、必ずこの葉書をお出しください。
また、お寄せいただいた個人情報につきましては、同窓会しのぶ会運営の目的以外には使用しません。

※今後あなたの住所・電話番号・勤務先等に変更等があった場合、また結婚して改姓・転居された場合にはご面倒でもこの葉書を利用してご連絡ください。
※同窓会の旧職員・先輩・後輩を問わず住所不明の方の消息や住所等をご存知でしたらぜひお知らせください。
※点線にそって切り取り、ご使用ください。

注　意　事　項

＊証明書料金は、1枚につき300円です。返信用送料とともに切手か郵便為替に換えて封書にて郵送してください。
＊証明書は、期日に余裕を持ってお申込みください。
＊証明書申込先住所・返信用送料明細は、申込用紙裏面記載のとおりです。
＊お寄せいただいた個人情報に関しましては、目的以外には使用しません。

＊注意事項をよく読み証明書申込用紙に必要事項を記入して封書にてお申込みください。

証明書申込先
〒889−1605　宮崎市清武町加納丙1415
宮崎学園短期大学　証明　係
TEL　0985－85－0146

返信用送料明細
証明書３枚まで普通郵便料　120円
速達郵便希望の場合　プラス290円

＊送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に通知します。

通信欄

＊注意事項をよく読み証明書申込用紙に必要事項を記入して封書にてお申込みください。

証明書申込先
〒889−1605　宮崎市清武町加納丙1415
宮崎学園短期大学　証明　係
TEL　0985－85－0146

返信用送料明細
証明書３枚まで普通郵便料　120円
速達郵便希望の場合　プラス290円

＊送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に通知します。

通信欄

本学と関係のある方々の「本」の紹介



「ガキの頃」
（自費出版）

河野 包　著
大上 敏男　画

著者紹介

平成24年度から平成29年度までと平成31年度の計7年間、宮崎学園短期大学入試広報部長として勤務。

本の内容

元高校教諭の河野包氏は、都農町出身です。小学生時代を中心（昭和20~30年代）に同町の思い出をつづった本で、体験した出来事などを記しています。「当時のことをいつか文字にしたいと思っていた、印象深い思い出がいっぱいある」と話しておられます。



「なぁんもねかったどん 霧島を見上げて 育った少年の物語」
（鉱脈社）

北村 秀秋　著

著者紹介

平成19年4月から平成21年9月まで、初等教育科の教員として宮崎学園短期大学勤務。
この間、本学図書館第四代館長も歴任。他に、なぁんも ねかったどんシリーズとして、「霧島を見上げて育った少年の物語」「紙と鉛筆と数学」（鉱脈社）の著書があります。

本の内容

敗戦から昭和 20 ~ 30 年代、ものはなかったけれども、こころは豊かだった時代がありました。衣食住も乏しかったあの時代の少年たちがかけ回ってたくましく育った姿を描いています。



「心がホッとする CDブック」
（アスコム）

脳科学者　中野 信子　著
ピアニスト　野田 あすか

野田 あすかさんについて

あすかさんには広汎性発達障害、解離性障害という障がいがあります。4歳の頃よりピアニストの道を志すようになりました。宮崎大学を中退後、宮崎学園短期大学音楽科の長期履修生となりました。恩師となる田中幸子先生との出会いがあり、自分の心をピアノで表現することができるようになりました。

本の内容

発達障害のある人は何を考え、何に悩み、なぜ人と違う行動をとってしまうのか。脳科学者が「発達障害」の世界をリアルに描いています。

忍ヶ丘　第13号

【編集委員】　竹下 弘一郎　小澤 真美子　桑迫 信子　河野 美香子　石川 亮介　蛯原 まどか
しのぶ会事務局
【発行日】　令和３年３月19日
【発行所】　**宮崎学園短期大学**
宮崎学園短期大学内　しのぶ会事務局
〒889-1605 宮崎市清武町加納丙 1415　TEL.（0985）85-0146
【印刷所】　株式会社　宮崎南印刷

郵便はがき

8 8 9 - 1 6 0 5

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会
しのぶ会　行

63円切手をはってください

通信欄

郵便はがき

8 8 9 - 1 6 0 5

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会
しのぶ会　行

63円切手をはってください

通信欄


宮崎学園短期大学
Miyazaki Gakuen Junior College